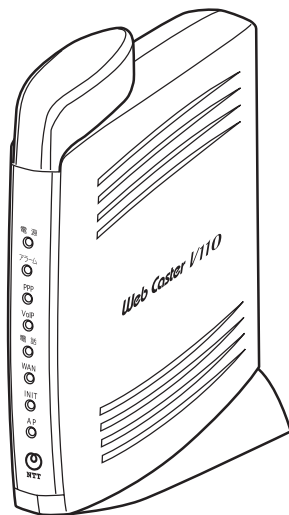


Web Caster V110

詳細取扱説明書

このたびは、Web Caster V110をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「詳細取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



目次

目次	2
マニュアルの見かた	4
マニュアルの見かた	4

1 こんなときにはこの設定

こんなときにはこの設定	1-2
マルチセッションを利用するときには (フレックス・スクウェアを利用する)	1-2
音声／ビデオチャット等のツールを利用するときには	1-5
外部にサーバを公開するには	1-7
複数の固定IPアドレスサービスを利用するには	1-11
LAN側のパソコンにIPアドレスを自分で設定するには	1-12
LAN側のIPアドレスを変更するには	1-13
特定のパソコンのインターネット接続を規制するには	1-14
特定の相手からの呼び出しを拒否するには	1-15
LAN側に接続したパソコンのファイルやプリンタを共有するには	1-15

2 詳細設定方法

Webブラウザによる設定について	2-2
機能	2-2
操作の流れ	2-3
ボタンについて	2-4
ご利用方法	2-5
かんたん設定	2-6
ルータ設定	2-7
ネットワーク設定	2-8
PPPoE設定	2-11
DHCP設定	2-14
NAPT設定	2-17
IPフィルタ設定	2-20
ルーティングテーブル設定 ルーティング条件 (セッション1)	2-22
ルーティングテーブル設定 ルーティング条件 (セッション2)	2-24
RIP設定	2-27
VPNパススルー設定	2-28
Windows共有フィルタ/ステルス設定	2-30
無線LAN設定	2-31
基本設定	2-32
暗号化設定	2-32
MACアドレスフィルタリング	2-33
電話設定	2-35
サービス設定	2-36
IP電話設定情報	2-39

目次

状態表示	2-41
ログ表示	2-47
障害ログ表示	2-48
通話ログ表示	2-48
保守	2-49
パスワード設定	2-50
Ping送信	2-51
設定値表示／保存／復元	2-52
ファームウェア更新	2-55
自動アップデート	2-55
再起動	2-56
Webブラウザによる設定の終了	2-57

3 付録

機能仕様	3-2
電話機能	3-2
ルータ機能	3-4
無線機能	3-8
その他	3-9
用語集	3-11
索引	3-19
設定記入シート	3-21

マニュアルの見かた

本商品のマニュアルの見かたについて説明します。

マニュアルの見かた

本書は下記のように構成されています。

1 こんなときにはこの設定

本商品の機能を使うときの設定方法について説明します。
(音声／ビデオチャット等のツールを利用するときには／その他)

2 詳細設定方法

本商品のデータ設定、状態確認などの保守方法について説明します。Webブラウザを使用します。かんたん設定やルータ、電話、無線LANなどの各種設定、状態表示、ログ表示などのメニューがあります。メニューをクリックすると各種Web保守画面が表示されます。この章では画面単位で用途や操作方法について説明します。

3 付録

本商品のサービス機能について説明します。
また、付録として用語集、設定記入シートを載せましたので活用してください。

1 こんなときにはこの設定

本章では、いろいろなケースにおける本商品の具体的な設定方法について説明しています。

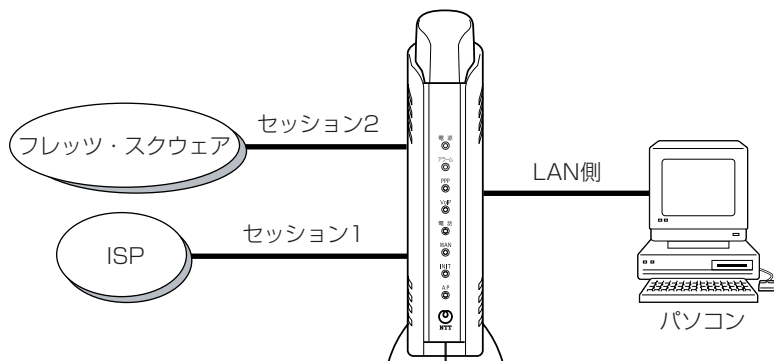
こんなときにはこの設定 …………… 1-2

こんなときにはこの設定

マルチセッションを利用するときには（フレッツ・スクウェアを利用する）

取扱説明書「かんたん設定」に基づいて、セッション1（接続先1情報）はお客様が契約されているプロバイダ（ISP）に接続されていることを前提とします。

当社提供サービスのフレッツ・スクウェアをご利用になる場合、接続先を切り替える必要があります。（接続先は指定した1つのネットワークになります。）マルチセッション機能を使うことで、2つのネットワークに同時に接続することができ、接続先の切り替えなしで異なるネットワークがご利用になります。



1 PPPoE設定でセッション2の接続情報を追加します。

画面左メニュー [ルータ設定] → [PPPoE設定] をクリックし、セッション2の接続先は「接続先2」を選択します。

接続先設定

	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続しない
セッション1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セッション2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ルータ設定条件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2 PPPoE設定でセッション2の接続情報を追加します。

セッション2の接続に必要な「接続先2」の情報（フレッツ・スクウェアへの接続情報）を入力します。

※「無通信監視タイマ」は30分を推奨しています。

接続先2

接続ユーザ名	<input type="text" value="①"/>
接続パスワード	<input type="text" value="②"/>
接続パスワード確認	<input type="text" value="③"/>
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP+CHAP
無通信監視タイマ	30分 ▼
DNSサーバアドレス	プライマリ <input type="text"/> セカンダリ <input type="text"/>
MTU値	1452
IP アドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続) IP アドレス / マスク長 <input type="text"/> / <input type="text"/>

セッション2をフレッツ・スクウェアへ接続するときには…

東日本ご利用の方

- ①ログインID 「guest@flets」
- ②ログインパスワード 「guest」
- ③ログインパスワード 「guest」

西日本ご利用の方

- ①ログインID 「flets@flets」
- ②ログインパスワード 「flets」
- ③ログインパスワード 「flets」

- ④ 「確認」 をクリックすると 「送信」 が有効になります。
- ⑤ 「送信」 をクリックしてください。
- ⑥ 「反映」 をクリックしてください。

3

「ルーティング条件」をクリックし、セッション2の「ルーティング条件」を設定します。

接続先設定	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続しない
セッション1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
セッション2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ルーティング条件	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(注) セッション2の「ルーティング条件」は必須です。

4

セッション2の「ルーティング条件」を入力します。



- ① トップレベルドメインの「flets」を入力します。
- ② 「追加」、「確認」の順にクリックすると、「送信」が有効になります。
- ③ 「送信」をクリックしてください。
- ④ 「反映」をクリックしてください。

5

接続状態を確認します。

画面左メニュー「状態表示」をクリックします。

「セッション1」の状態が「正常」、「セッション2」の状態が「未使用」と表示されていることを確認します。

※パソコンからフレッツ・スクウェアへ接続すると、「セッション2」の状態は「正常」と表示されます。

PPPoE状態(セッション1)	正常
PPPoE状態(セッション2)	未使用

※本商品のPPPランプをご確認ください。

ランプの種別	ランプ表示
①電源ランプ	緑点灯
②アラームランプ	消灯
③PPPランプ	緑点灯：1セッション接続時 橙点灯：2セッション接続時
④VoIPランプ	緑点灯
⑤電話ランプ	橙点灯
⑥WANランプ	緑点灯または緑点滅
⑦INITランプ	消灯
⑧APランプ	消灯

※セッション2の接続が成功しなかった場合は、手順1～4で行った設定を再度確認してください。

音声／ビデオチャット等のツールを利用するときには

パソコンにインストールされている音声／ビデオチャットソフトをご使用になる場合は、本商品に以下のような設定を行う必要があります。また、ご使用になるツールの取扱説明書も合わせてご確認ください。

■音声／ビデオチャットを行いたい接続先がセッション1の場合

1 WebブラウザのNAPT設定のUPnP機能で「セッション1有効」を選択します。

画面左メニュー [ルータ設定] → [NAPT設定] をクリックし、UPnP機能のプルダウンメニューから「セッション1有効」を選択してください。



(注) UPnP機能はセッション1、セッション2のどちらかしか設定できません。

2 本商品に設定を反映させます。

①「確認」、②「送信」、③「反映」の順にクリックし、システム更新を実施してください。



■音声/ビデオチャットを行いたい接続先がセッション2の場合

1 NAPT設定のUPnP機能で「セッション2有効」を選択します。

画面左メニュー [ルータ設定] → [NAPT設定] をクリックし、UPnP機能のプルダウンメニューから「セッション2有効」を選択してください。



(注) UPnP機能はセッション1、セッション2のどちらかしか設定できません。

2 本商品に設定を反映させます。

①「確認」、②「送信」、③「反映」の順にクリックし、システム更新を実施してください。



お知らせ

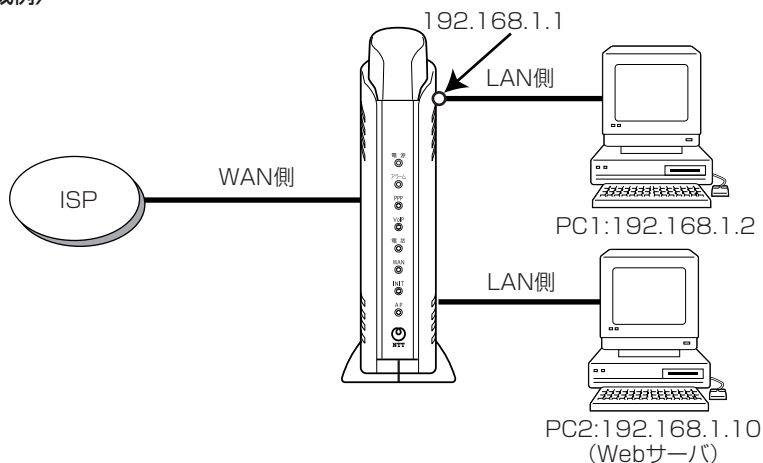
- 本商品はすべての音声/ビデオチャットのソフトの動作を保証するものではありません。

外部にサーバを公開するには

■Webサーバとして公開する場合

Webサーバとして運用するパソコンをお客様の方で用意する必要があります。以下の構成例では、PC1を通常のLAN側のパソコン（IPアドレス：192.168.1.2）、PC2をWebサーバが稼動するLAN側のパソコン（IPアドレス：192.168.1.10）としています。下の構成例では転送先のPC2のIPアドレスを常に一定にするためにIPアドレスの指定が必要です。手順1ではWebブラウザからDHCP設定による設定例を説明します。手順2でNAPT設定による転送条件の設定となります。

〈構成例〉



- 1** Webサーバとして公開するLAN側パソコンのIPアドレスを設定します。
左メニュー [ルーティング設定] → [DHCP設定] をクリックします。



- ① LAN側IPアドレスは本商品の「IPアドレス(192.168.1.1)」を入力します。
- ② マスク長はクラスCの範囲を示す「24」を入力します。
- ③ DHCPサーバ機能を「有効」にします。
- ④ 割り当て開始IPアドレス、割り当て終了IPアドレスはクラスCの範囲(192.168.1.X)(X=1以外で2~255まで)で入力します。
- ⑤ DNSサーバアドレスは本商品の「IPアドレス(192.168.1.1)」を入力します。
- ⑥ 常に一定のIPアドレスをパソコンに供給するよう「IPアドレス」をDHCPサーバから取得するよう設定します。この例では割り当て開始—終了で指定された範囲の内(192.168.1.10)を指定した例です。
- ⑦ MACアドレスは「Physical Addressの値」を入力します。「Physical Addressの値」はコマンドプロンプトを開き、「ipconfig/all」と入力すると確認できます。
- ⑧ 「追加」、「確認」の順にクリックすると、「送信」が有効になります。
- ⑨ 「送信」をクリックしてください。
- ⑩ 「反映」をクリックしてください。

2

NAPT設定で転送先のパソコンを指定します。

画面左メニュー [ルータ設定] → [NAPT設定] をクリックします。

①動的NAPTを「有効」にします。

※簡易DMZ IPアドレス、UPnP機能は設定に影響しません。

②割り当てWAN側受信ポート範囲にWebサーバのポート範囲の「80～80」を入力します。

③プロトコル種別で「TCP」を選択します。

④LAN側の転送IPアドレスはWebサーバとして運用させるパソコンのIPアドレス（ここでは「192.168.1.10」）を入力します。

⑤LAN側の転送ポートにWebサーバのポート「80」を入力します。

⑥「追加」、「確認」の順にクリックすると、「送信」が有効になります。

⑦「送信」をクリックしてください。

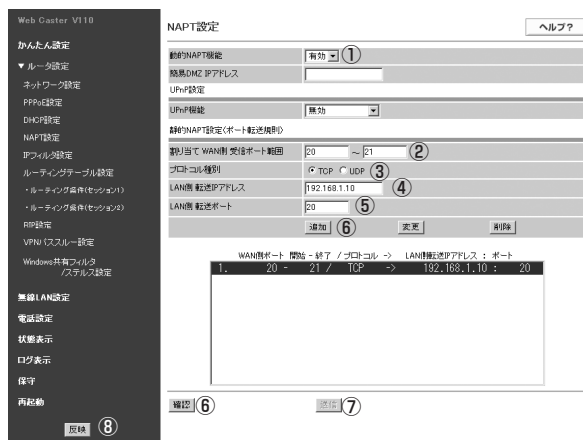
⑧「反映」をクリックしてください。

■ftpサーバとして公開する場合

ftpサーバとして運用するパソコンをお客様の方で用意する必要があります。構成例はWebサーバとして公開する場合と同様の形態となります。

1 ftpサーバとして公開するLAN側パソコンのIPアドレスを設定します。
設定方法は Webサーバとして公開する場合の 手順1 と同様です。

2 NAT設定で転送先のパソコンを指定します。
画面左メニュー [ルータ設定] → [NAPT設定] をクリックします。

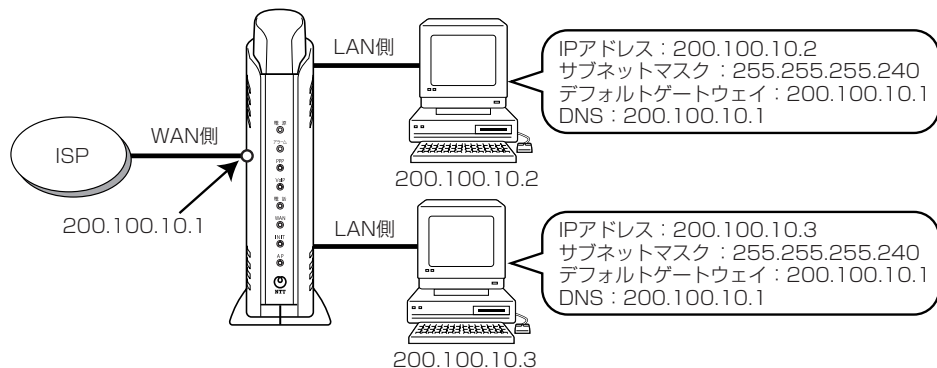


- ①動的NAPTを「有効」にします。
※簡易DMZ IPアドレス、UPnP機能は設定に影響しません。
- ②割り当てWAN側受信ポート範囲はWebサーバのポート範囲の「20～21」を入力します。
- ③プロトコル種別で「TCP」を選択します。
- ④LAN側の転送IPアドレスはftpサーバとして運用させるパソコンのIPアドレス（ここでは「192.168.1.10」）を入力します。
- ⑤LAN側の転送ポートをftpサーバのポート「20」を入力します。
- ⑥「追加」、「確認」の順にクリックすると、「送信」が有効になります。
- ⑦「送信」をクリックしてください。
- ⑧「反映」をクリックしてください。

複数の固定IPアドレスサービスを利用するには

ISP（プロバイダ）様から固定IPアドレスが複数割り当てられるサービスをご利用のお客様のみ利用可能です。

この接続例はUnnumbered接続で、割り当てられたネットワークアドレスは200.100.10.0/28、本商品に設定するアドレスは200.100.10.1のネットワーク構成例になります。なお、本商品のLAN側に接続するパソコンにも設定が必要になります。下図のパソコンのイメージに設定内容を示しましたのでこちらも忘れずに設定を行ってください。



1 PPPoE設定でセッション1接続を指定し、接続先1に接続情報を設定します。
画面左メニュー [ルータ設定] → [PPPoE設定] をクリックします。

接続先設定

	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	接続先6
セッション1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セッション2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ルーティング条件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

接続先1	
接続ユーザ名	000000@bb.ccc.ne.jp
接続パスワード	*****
接続パスワード確認	*****
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP/CHAP
無通信監視タイマ	無効
DNSサーバアドレス	プライマリ セカンダリ
MTU値	1452
IPアドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input checked="" type="radio"/> 指定する (Unnumbered接続)
IPアドレス	200.100.10.1 / 28

(注) セッション1（接続先1）を使用する場合の例です。

- ①ご契約のISPから付与された接続ユーザ名/接続パスワードを入力します。
- ②IPアドレス指定は「指定する (Unnumbered接続)」を選択し、ご契約のISPから割り当てられた固定IPアドレス (200.100.10.1/28) を入力します。
- ③「確認」をクリックすると、「送信」が有効になります。
- ④「送信」をクリックしてください。
- ⑤「反映」をクリックしてください。

(次ページに続く)

こんなときにはこの設定

LAN側のパソコンにIPアドレスを自分で設定するには

本商品の「DHCP設定」の「固定IPアドレスで使用する端末の情報設定」を使用することで常にIPアドレスを一定にすることができます。（「DHCP設定」(●P2-14)）

ここではLAN側のパソコンに設定するIPアドレスが「192.168.1.10」の場合を例に説明します。



- ① 「LAN側ネットワーク設定」の「LAN側IPアドレス/マスク長」は「192.168.1.1/24」を入力します。
- ② 「固定IPで使用する端末の情報設定」の「IPアドレス」は「192.168.1.10」、「MACアドレス」はご使用のパソコンのMACアドレスを入力します。
※Windows系パソコンのMACアドレスの調べ方はコマンドプロンプトで「winipcfg」または「ipconfig /all」と入力し、「Physical Address」の値になります。
- ③ 「追加」、「確認」の順番にクリックすると、「送信」が有効になります。
- ④ 「送信」をクリックします。
- ⑤ 「反映」をクリックします。
- ⑥ ご使用のパソコンを再起動してください。
- ⑦ 設定したIPアドレスになっているか確認してください。

LAN側のIPアドレスを変更するには

本商品の「DHCP設定」の「LAN側ネットワーク設定」で変更することができます。
 (「DHCP設定」(●P2-14))

ここではIPアドレスを「192.168.1.1」から「192.168.10.1」に変更する場合を例に説明します。



① 「LAN側ネットワーク設定」の「LAN側IPアドレス/マスク長」は「192.168.10.1/24」を入力します。

※Webブラウザのアドレス欄に設定するアドレス値が変更になります。

② 「DHCPサーバ設定」を以下のように設定します。

- ・DHCPサーバ機能：有効
- ・割り当て開始IPアドレス：192.168.10.2
- ・割り当て終了IPアドレス：192.168.10.10
- ・DNSサーバアドレス：192.168.10.1

③ 「確認」、「送信」をクリックします。

④ 「反映」をクリックします。

⑤ ご使用のパソコンを再起動してください。

⑥ 設定したIPアドレスになっているか確認してください。

特定のパソコンのインターネット接続を規制するには

本商品の「IPフィルタ設定」の「パケットフィルタ規制」を使用することで複数接続されたパソコンのうちインターネットにアクセスできないパソコンを指定することができます。
 (「IPフィルタ設定」(P2-20))

ここでは、「192.168.1.4」と「192.168.1.5」を割り当てたパソコンをインターネットにアクセスさせない場合を例に説明します。



- ① 「方針」は「破棄」を選択します。
- ② 「プロトコル種別」は「全て」を選択します。
- ③ 「入カインタフェース」は「LAN」を選択します。
- ④ 「出カインタフェース」は「WAN」を選択します。
- ⑤ 「送信元IPアドレス/マスク長」は「指定」を選択し、「192.168.1.4/32」を入力します。
- ⑥ 「送信先IPアドレス/マスク長」は「全て」を選択します。
- ⑦ 「送信先ポート番号」は「全て」を選択します。
- ⑧ 「追加」をクリックします。

インターネット接続を規制する2台目のパソコンの設定も①～⑧の手順を同様に行ってください。ただし、⑤で指定する「送信元IPアドレス/マスク長」は「192.168.1.5/32」を指定します。
 ⑨2台目の設定が完了したら「確認」、「送信」の順にクリックします。
 ⑩「反映」をクリックします。

特定の相手からの呼び出しを拒否するには

Webブラウザまたは電話機から本商品に設定を行うことで着信を拒否したい相手先電話番号を本商品に登録することができます。

■Webブラウザからの設定方法

「サービス設定」(●P2-36)を参照してください。

■電話機からの設定方法

「機能仕様」の「着信拒否」(●P3-3)を参照してください。



お知らせ

- 加入電話回線経由の呼び出しを拒否する場合は、当社のサービス「迷惑電話おことわりサービス」(有料)をご契約ください。

LAN側に接続したパソコンのファイルやプリンタを共有するには

本商品の設定変更は不要です。お使いのパソコンやプリンタの取扱説明書に従って設定を行ってください。

2

詳細設定方法

この章では、Webブラウザによる各設定の使い方について説明しています。

Webブラウザによる設定について ……2-2

Webブラウザによる設定について

本商品のデータ変更や状態確認はWebブラウザにて実施します。Webブラウザは、取扱説明書3章 本商品の設定方法「かんたん設定」の手順を実施することにより表示されます。

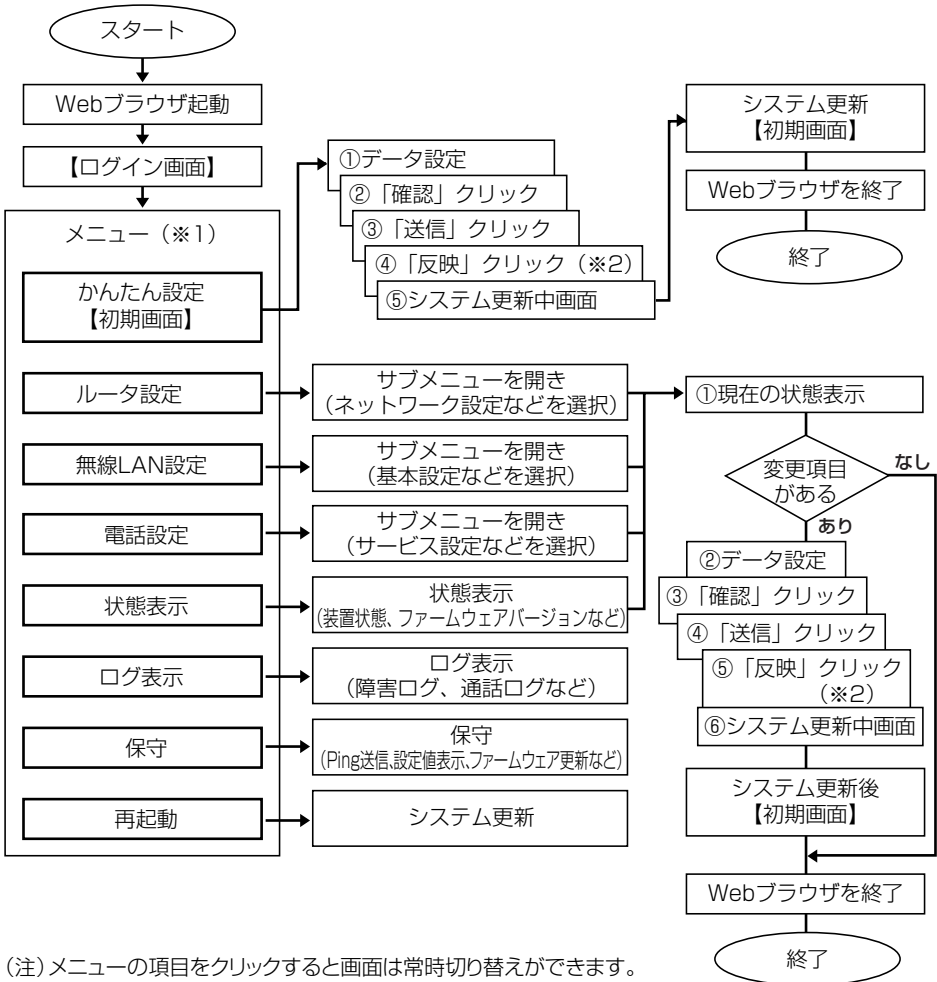
機能

機能は大きく分けると次のようになっています。

メインメニュー項目	機能
かんたん設定	本商品を接続してご利用開始までに最低限必要なデータ設定を行います。
ルータ設定	本商品のルータ機能の設定変更を行う場合に利用します。
無線LAN設定	本商品の無線機能の設定変更を行う場合に利用します。
電話設定	IP電話サービスや加入電話サービス等の電話サービスに関する設定変更を行う場合に利用します。
状態表示	本商品の運用状態を確認する場合に利用します。また、ファームウェア手動アップデートやPPPoEの手動接続/切断を実施することができます。
ログ表示	本商品の履歴情報を確認する場合に利用します。
保守	通信試験や最新バージョンへのファームウェア更新を実施する場合に利用します。
再起動	システム更新や、初期設定状態に戻す際に利用します。

操作の流れ

操作の基本的な流れを示します。



※1 画面左にメニューが表示されます。項目をクリックすると画面が切り替わります。

※2 全てのデータを設定後に実施します。(サブメニュー単位に実施する必要はありません。「確認」「送信」クリックはサブメニュー単位に実施してください。) システム更新後、設定したデータが反映されます。

ボタンについて

Webブラウザ上で使用するボタンについて説明します。

- 「確認」 ボタン
Webブラウザ上で設定した内容を確認します。変更した内容が不正なときはポップアップメッセージが表示されます。正しい内容を再入力し、もう一度「確認」をクリックしてください。
- 「送信」 ボタン
Webブラウザ上で設定した内容を本商品へ送信します。
「確認」をクリックし、正しい内容が入力されている場合に「送信」は有効になります。
- 「反映」 ボタン
「送信」をクリックし、送信した内容を設定します。その後「反映」をクリックするとシステム更新を実施しWebブラウザで設定した内容で起動します。

ご利用方法

Webブラウザのご利用方法および、各メニューの詳細内容について説明します。
画面構成は下表のとおりです。

メニュー	サブメニュー	参 照
かんたん設定	—	「かんたん設定」
ルータ設定	ネットワーク設定	「ネットワーク設定」(☛P2-8)
	PPPoE設定	「PPPoE設定」(☛P2-11)
	DHCP設定	「DHCP設定」(☛P2-14)
	NAPT設定	「NAPT設定」(☛P2-17)
	IPフィルタ設定	「IPフィルタ設定」(☛P2-20)
	ルーティングテーブル設定	「ルーティングテーブル設定」(☛P2-22、P2-24)
	ルーティング条件(セッション1)	「ルーティング条件(セッション1)」(☛P2-22)
	ルーティング条件(セッション2)	「ルーティング条件(セッション2)」(☛P2-24)
	RIP設定	「RIP設定」(☛P2-27)
	VPNパススルー設定	「VPNパススルー設定」(☛P2-28)
	Windows共有フィルタ/ステルス設定	「Windows共有フィルタ/ステルス設定」(☛P2-30)
無線LAN設定	基本設定	「基本設定」(☛P2-32)
	暗号化設定	「暗号化設定」(☛P2-32)
	MACアドレスフィルタリング	「MACアドレスフィルタリング」(☛P2-33)
電話設定	サービス設定	「サービス設定」(☛P2-36)
	IP電話設定情報	「IP電話設定情報」(☛P2-39)
状態表示	—	「状態表示」(☛P2-41)
ログ表示	障害ログ表示	「障害ログ表示」(☛P2-48)
	通話ログ表示	「通話ログ表示」(☛P2-48)
保守	パスワード設定	「パスワード設定」(☛P2-50)
	Ping送信	「Ping送信」(☛P2-51)
	設定値表示/保存/復元	「設定値表示/保存/復元」(☛P2-52)
	ファームウェア更新	「ファームウェア更新」(☛P2-55)
	自動アップデート	「自動アップデート」(☛P2-55)
再起動	—	「再起動」(☛P2-56)

かんたん設定

- 「かんたん設定」の設定の仕方は取扱説明書「かんたん設定」を参照し、設定は必ず行ってください。

ルータ設定

本商品の設定を変更することができます。

- 1** 画面左メニューの「ルータ設定」をクリックします。

Web Caster V110

かんたん設定

ルータ設定

無線LAN設定

電話設定

状態表示

ログ表示

保守

再起動

反映

- 2** サブメニューが表示されたら、変更したい項目をクリックします。

Web Caster V110

かんたん設定

▼ ルータ設定

ネットワーク設定

PPPoE設定

DHCP設定

NAPT設定

IPフィルタ設定

ルーティングテーブル設定

・ルーティング条件(セッション1)

・ルーティング条件(セッション2)

RIP設定

VPN/パススルー設定

Windows 共有フィルタ
/ステルス設定

無線LAN設定

電話設定

状態表示

ログ表示

保守

再起動

反映

ネットワーク設定

LAN側およびWAN側のネットワークに関するデータを変更することができます。

- 1 サブメニューの「ネットワーク設定」をクリックすると、現在のデータ内容が画面に表示されます。

- 2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
<動作モード>		
動作モード	<p>ネットワークへ接続する際の接続方法を設定します。 設定範囲：PPPoE/DHCP/固定IP/アダプタ</p> <p>PPPoE：本商品のPPPoEクライアント機能により、外部PPPoE認証サーバとセッションを確立してネットワークへ接続します。PPPoEマルチセッション対応です。</p> <p>DHCP：本商品のDHCPクライアント機能により、外部DHCPサーバよりIPアドレス取得してネットワークへ接続します。</p> <p>固定IP：ISP（プロバイダ）より固定IPアドレスを割り当てられるサービスをご使用のお客様はこの動作モードでネットワークへ接続します。</p> <p>アダプタ：フレッツ・光プレミアム用の動作モードです。UPnP IGD機能を有効としているNTT西日本提供の加入者網終端装置（CTU）と接続し、UPnP CP機能を使用して、電話アダプタとして動作します。</p>	PPPoE

項目	内容	初期値
<WAN側ネットワーク設定>		
WAN側IPアドレス/マスク長	動作モードが「固定IP」を選択した場合に使用する設定項目です。本設定はISP（プロバイダ）より固定IPアドレスを割り当てられたIPアドレスおよびサブネットマスクを設定します。 設定範囲：WAN側IPアドレス：ISP（プロバイダ）より割り当てられたIPアドレスを設定します。 マスク長：ISP（プロバイダ）より割り当てられたサブネットマスクを設定します。	なし/なし
デフォルトゲートウェイ	動作モードが「固定IP」を選択した場合に使用する設定項目です。本設定はISP（プロバイダ）より割り当てられたデフォルトゲートウェイを設定します。	なし
<DNSリレー設定>		
DNSサーバアドレス	DNSサーバのIPアドレスを設定します。通常使用するサーバ（プライマリ）とプライマリサーバがダウンしたときに使用するサーバ（セカンダリ）のIPアドレスを設定します。 (注) 動作モードがPPPoEで使用する場合は、PPPoE設定メニューで設定してください。	なし/なし
<NTPサーバ設定>		
NTPサーバIPアドレス	NTPサーバのアドレスを設定します。時計情報を設定する場合に使用します。NTPサーバIPアドレスの設定方法については、取扱説明書「本商品の時刻を正しく設定するには」を参照してください。	なし
<LAN側ネットワーク設定>		
LAN側IPアドレス/マスク長	LAN側IPアドレス：LAN側のIPアドレスを設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255 マスク長：LAN側のサブネットマスクを設定します。 設定範囲：1～30	192.168.1.1/24
<PPPoEブリッジ設定>		
PPPoEブリッジ設定	フレッツ・コネクトやフレッツ・コミュニケーションなどのサービスを利用するときは「有効」にしてください。 WANとLANインタフェース間でPPPoEフレームをブリッジします。 設定範囲：無効/有効 (注) 動作モードがPPPoEモードのみ、PPPoEブリッジが動作します。	有効
<IPv6ブリッジ設定>		
IPv6ブリッジ設定	IPv6サービスを利用するときは「有効」にしてください。IPv6パケットをブリッジします。 設定範囲：無効/有効 (注) 動作モードが「PPPoE」のみ、IPv6ブリッジが動作します。	有効
<ポート設定>		
WANポート設定	WANポートの通信速度、モードを設定します。 通常は「自動認識」をご利用ください。 設定範囲： ・自動認識：ネゴシエーションを行い、自動で設定します。 ・100M全二重：100 Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100 Mbpsの半二重通信 ・10M全二重：10 Mbpsの全二重通信 ・10M半二重：10 Mbpsの半二重通信	自動認識

(次ページに続く)

Webブラウザによる設定について

項目	内容	初期値
<ポート設定> (続き)		
LAN 1ポート設定	LAN側ポート(1/2/3/4チャンネル目)の通信速度、モードを設定します。通常は「自動認識」をご利用ください。 設定範囲： ・自動認識：ネゴシエーションを行い、自動で設定します。 ・100M全二重：100 Mbpsの全二重通信 ・100M半二重：100 Mbpsの半二重通信 ・10M全二重：10 Mbpsの全二重通信 ・10M半二重：10 Mbpsの半二重通信	自動認識
LAN 2ポート設定		
LAN 3ポート設定		
LAN 4ポート設定		

3 設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4 「送信」をクリックします。**5** 「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

PPPoE設定

PPPoEに関するデータを変更することができます。

(注1)「ネットワーク設定：動作モード」で「PPPoE」を選択した場合に利用します。

(注2)最大5種類の接続先を設定することができます。(ただし、同時に使用できる接続先は2つです。)

1 サブメニューの「PPPoE設定」をクリックすると、現在のデータ内容が表示されます。

PPPoE設定						ヘルプ?
接続先設定	接続先1	接続先2	接続先3	接続先4	接続先5	
セクション1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
セクション2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
メニュー表示	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
接続先1						
接続ユーザ名						
接続パスワード						
接続パスワード確認						
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP+CHAP					
無応答監視タイム	30 秒					
DNSサーバアドレス	ブライマリ		セカンダリ			
MTU値	1462					
IPアドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続)					
IPアドレス	IP アドレス / マスク長					
接続先2						
接続ユーザ名						
接続パスワード						
接続パスワード確認						
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP+CHAP					
無応答監視タイム	30 秒					
DNSサーバアドレス	ブライマリ		セカンダリ			
MTU値	1462					
IPアドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続)					
IPアドレス	IP アドレス / マスク長					
接続先3						
接続ユーザ名						
接続パスワード						
接続パスワード確認						
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP+CHAP					
無応答監視タイム	30 秒					
DNSサーバアドレス	ブライマリ		セカンダリ			
MTU値	1462					
IPアドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続)					
IPアドレス	IP アドレス / マスク長					
接続先4						
接続ユーザ名						
接続パスワード						
接続パスワード確認						
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP+CHAP					
無応答監視タイム	30 秒					
DNSサーバアドレス	ブライマリ		セカンダリ			
MTU値	1462					
IPアドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続)					
IPアドレス	IP アドレス / マスク長					
接続先5						
接続ユーザ名						
接続パスワード						
接続パスワード確認						
認証方式	<input type="radio"/> 認証なし <input type="radio"/> PAP <input type="radio"/> CHAP <input type="radio"/> PAP+CHAP					
無応答監視タイム	30 秒					
DNSサーバアドレス	ブライマリ		セカンダリ			
MTU値	1462					
IPアドレス指定	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 指定する (unnumbered 接続)					
IPアドレス	IP アドレス / マスク長					

(次ページに続く)

Webブラウザによる設定について

2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
〈接続先設定〉		
セッション1	セッション1に接続したい接続情報を接続先1～接続先5のラジオボタンから選択します。 設定範囲：接続先1～5／接続しない ※「かんたん設定」画面で設定した内容が「セッション1および接続先1」の内容になります。	接続しない
セッション2	セッション2に接続したい接続情報を接続先1～接続先5のラジオボタンから選択します。 設定範囲：接続先1～5／接続しない	接続しない
ルーティング条件	ルーティングテーブル設定のルーティング条件（セッション2）の設定へジャンプします。 （注）セッション2の接続情報を変更した場合は手順3の「確認」および手順4の「送信」ボタンをクリックしてから「ルーティング条件」ボタンをクリックしないと本商品へデータが設定されません。	－
〈接続先X〉（X=1～5）		
接続ユーザ名	ユーザIDを設定します。	なし
接続パスワード	ユーザパスワードを設定します。	なし
接続パスワード確認	確認のため、もう一度「接続パスワード」を設定してください。	なし
認証方式	PPPoEの認証方式を設定します。PAP+CHAPを選択した場合、接続先と一致した方式を利用します。 設定範囲：認証なし/PAP/CHAP/PAP+CHAP	PAP+CHAP
無通信監視タイマ	インターネットへのアクセスが一定時間ないときに、セッションを自動的に切断します。 設定範囲：無効/1/5/10/30（分）	接続先1：無効 接続先2～5：30
DNSサーバアドレス	DNSサーバのIPアドレスを設定します。設定されている場合はPPPoE機能により取得したDNSサーバアドレスではなく本データを利用します。通常使用するサーバ（プライマリ）とプライマリサーバがダウンしたときに使用するサーバ（セカンダリ）のIPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255	なし/なし
MTU値	MTU値を設定します。 設定範囲：576～1492 ※ 設定を変更すると通信できなくなることがあります。ご注意ください。	1452
IPアドレス指定	IPアドレス/マスク長の指定を設定します。 Unnumbered接続を実施する場合は「指定する」を選択し、LAN側のIPアドレス/マスク長を設定します。 設定範囲：指定しない/指定する IPアドレスの設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255 マスク長の設定範囲：1～32	指定しない

3

設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4

「送信」をクリックします。

5

「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

DHCP設定

DHCPサーバに関するデータを変更することができます。

※「ネットワーク設定：動作モード」に関係なく設定することができます。

1 サブメニューの「DHCP設定」をクリックすると、現在のデータ内容が表示されます。

2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
<LAN側ネットワーク設定>		
LAN側IPアドレス/マスク長	LAN側IPアドレス：LAN側のIPアドレスを設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255 マスク長：LAN側のサブネットマスクを設定します。 設定範囲：1～30 ※「ネットワーク設定」のLAN側IPアドレス/マスク長の内容が反映されます。	192.168.1.1/24
<DHCPサーバ設定>		
DHCPサーバ機能	DHCPサーバとして動作させるときは有効を設定します。 有効/無効を設定してください。	有効
割り当て開始IPアドレス	本商品の「DHCPサーバ機能」を「有効」にしたとき、DHCPサーバから割り当てるIPアドレスの割り当て開始IPアドレスを設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255	192.168.1.2
割り当て終了IPアドレス	本商品の「DHCPサーバ機能」を「有効」にしたとき、DHCPサーバから割り当てるIPアドレスの割り当て終了IPアドレスを設定します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255	192.168.1.11
DNSサーバアドレス	本商品の「DHCPサーバ機能」を「有効」にしたとき、DHCPサーバから割り当てるDNSサーバアドレスを設定することができます。 設定値は本商品のLAN側のIPアドレスを推奨します。 設定範囲：1.0.0.0～255.255.255.255	192.168.1.1

3

固定IPアドレスで使用する端末の情報設定をします。

(1) 固定IPアドレスで使用する端末の情報設定

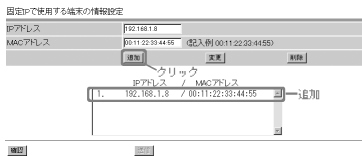
本商品のLAN側に接続する特定のパソコンに固定的にIPアドレスを割り当てることを可能とするため、MACアドレスとIPアドレスの組み合わせを設定します。設定範囲：1～16パターン。

(2) 追加方法

- ① 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
IPアドレス	パソコンに設定する固定IPアドレスを指定します。固定IPアドレスの設定はLAN側IPアドレス/マスク長の範囲を推奨します。 設定範囲：1.0.0.0～223.255.255.255	なし
MACアドレス	固定IPアドレスを設定するパソコンのMACアドレスを設定します。設定するMACアドレスはDOSプロンプトで「ipconfig/all」と入力し、Physical Addressの値を入力します。 (記入例：00:11:22:33:44:55)	なし

- ②「追加」をクリックしてください。次のように管理用テーブルに追加されます。内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「追加」をクリックしてください。



(3) 変更方法

- ① 変更するデータを選択し、データを変更します。
②「変更」をクリックしてください。管理用テーブルが更新されます。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「変更」をクリックしてください。

(4) 削除方法

- ① 削除するデータを選択し「削除」をクリックしてください。管理用テーブルから選択したデータが削除されます。

4

すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

5 「送信」をクリックします。

6 「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

NAPT設定

NAPTに関するデータを変更することができます。

- 1 サブメニューの「NAPT設定」をクリックすると現在のデータ内容が表示されます。

2 静的NAPT設定（ポート転送規則）をします。

- (1) 静的NAPT機能で使用するポート転送規則の設定

LAN側の端末がインターネット上の端末にアクセスする場合、LAN側転送IPアドレス/転送ポート番号とWAN側ポート番号の組み合わせを設定します。設定範囲：1～32パターン。

- (2) 追加方法

① 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
割り当てWAN側受信ポート範囲	転送させたいWAN側受信ポート範囲を設定します。 設定範囲：1～65535 ※ポートの範囲は16以内になしてください。(例：1001～1016)	なし
プロトコル種別	使用するプロトコルを設定します。 設定範囲：TCP / UDP	なし
LAN側 転送IPアドレス	LAN側転送先のIPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255	なし
LAN側 転送ポート	LAN側転送先ポート番号を指定してください。 設定範囲：1～65535 (例) 割り当てWAN側受信ポート範囲を1001～1003、転送先ポートを1001にした場合は以下のように転送されます。 ・ポート1001で受信→1001へ転送 ・ポート1002で受信→1002へ転送 ・ポート1003で受信→1003へ転送	なし

(次ページに続く)

Webブラウザによる設定について

- ②「追加」をクリックしてください。次のように管理用テーブルに追加されます。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「追加」をクリックしてください。

動的NAPT設定 (Port転送規則)

転送先(WAN側)ポート範囲	2001	2005
プロトコル種別	TCP / UDP	
LAN側転送先アドレス	192.168.0.12	
LAN側転送先ポート	5251	
送信		

クリック

WAN側ポート 開始 - 終了 / プロトコル	LAN側転送先IPアドレス	ポート
2, 20006-20010 / UDP	192.168.0.8	5256
3, 20011-20015 / UDP	192.168.0.4	5256
4, 20016-20020 / UDP	192.168.0.5	5257
5, 20021-20025 / UDP	192.168.0.6	5258
6, 20026-20030 / UDP	192.168.0.7	5252
7, 20031-20035 / UDP	192.168.0.8	5251
8, 20036-20040 / UDP	192.168.0.9	5250
9, 20041-20045 / UDP	192.168.0.10	5253
10, 20046-20050 / UDP	192.168.0.11	5255
11, 20051-20055 / UDP	192.168.0.12	5255

追加

(3) 変更方法

- ① 変更するデータを選択し、データを変更します。
- ② 「変更」をクリックしてください。管理用テーブルが更新されます。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「変更」をクリックしてください。

(4) 削除方法

- ① 削除するデータを選択し「削除」をクリックしてください。管理用テーブルから選択したデータが削除されます。

3

その他の設定をします。

項目	内容	初期値
動的NAPT機能	動的NAPT機能の無効/有効を設定します。 設定範囲：無効 / 有効	有効
簡易DMZ IPアドレス	グローバル側（WAN側）からのアクセスを特定の端末へ転送する機能です。LAN側転送先のIPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1~255.255.255.255	なし
<UPnP設定>		
UPnP機能	セッション1 有効/セッション2 有効/無効を選択してください。 ※UPnP機能は一方のセッションしか有効にすることができません。	無効

4

すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

5

「送信」をクリックします。

6

「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。



ワンポイント

お客さまがネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を使用する場合、ゲームのWebサイトの環境によっては本商品の静的NAPT設定（ポート転送規則）の「割り当てWAN側受信ポート範囲」は最大16ポートの制限を超える場合があります。この場合は、以下のように設定することでご使用できます。
設定例) ネットワークゲームを行うLAN側のパソコンのIPアドレスが192.168.1.10の例において、Web

サイトのネットワークゲームで使用するポートの範囲が以下の場合
使用しているポート

- ・TCP 2300-2331
- ・UDP 2300-2331

登録データ例)

以下のように複数登録して使用します。

エントリ1：割り当てWAN側受信ポート範囲：2300-2315

プロトコル種別：TCP

LAN側転送IPアドレス：192.168.1.10

LAN側転送ポート：2300

エントリ2：割り当てWAN側受信ポート範囲：2316-2331

プロトコル種別：TCP

LAN側転送IPアドレス：192.168.1.10

LAN側転送ポート：2316

エントリ3：割り当てWAN側受信ポート範囲：2300-2315

プロトコル種別：UDP

LAN側転送IPアドレス：192.168.1.10

LAN側転送ポート：2300

エントリ4：割り当てWAN側受信ポート範囲：2316-2331

プロトコル種別：UDP

LAN側転送IPアドレス：192.168.1.10

LAN側転送ポート：2316

IPフィルタ設定

IPパケットフィルタリングに関するデータを変更することができます。

- 1 サブメニューの「IPフィルタ設定」をクリックすると、現在のデータ内容が表示されます。

- 2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
デフォルトの規則	<パケットフィルタ規則>で指定しないIPアドレス・ポート番号からのアクセスを許可する/破棄するを指定します。	許可
<パケットフィルタ規則>		
方針 (POLICY)	許可/破棄から選択します。	なし
プロトコル種別 (PROTOCOL)	全て (TCP・UDP・ICMP) /TCP/UDP/ICMPから選択します。	なし
入力インタフェース (IN)	全て (WAN・LAN・セッション1・セッション2) /WAN側のみ/LAN側のみ/セッション1側のみ/セッション2側のみから選択します。	なし
出力インタフェース (OUT)	全て (WAN・LAN・セッション1・セッション2) /WAN側のみ/LAN側のみ/セッション1側のみ/セッション2側のみから選択します。	なし
送信元IPアドレス/マスク長 (SOURCE IP/MASK)	全て/指定 (IPアドレス/マスク長) IPアドレスの設定範囲: 0.0.0.1~255.255.255.255 マスク長の設定範囲: 1~32	なし/なし
送信先IPアドレス/マスク長 (DESTINATION IP/MASK)	全て/指定 (IPアドレス/マスク長) IPアドレスの設定範囲: 0.0.0.1~255.255.255.255 マスク長の設定範囲: 1~32	なし/なし
送信先ポート番号 (PORT)	全て/指定 (範囲指定) ポート番号の設定範囲: 1~65535	なし

3

パケットフィルタ規則の設定をします。

(1) パケットフィルタ規則の設定

パケットフィルタリングを実施するため、パケットフィルタ規則を設定します。
設定範囲：1～64パターン。

(2) 追加方法

① 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
方針 (POLICY)	許可/破棄から選択します。	なし
プロトコル種別 (PROTOCOL)	全て (TCP・UDP・ICMP) /TCP/UDP/ICMPから選択します。	なし
入カウンタフェース (IN)	全て(WAN・LAN・セッション1・セッション2)/WAN側のみ/LAN側のみ/セッション1側のみ/セッション2側のみから選択します。	なし
出カウンタフェース (OUT)	全て(WAN・LAN・セッション1・セッション2)/WAN側のみ/LAN側のみ/セッション1側のみ/セッション2側のみから選択します。	なし
送信元IPアドレス/マスク長 (SOURCE IP/MASK)	全て/指定 (IPアドレス/マスク長) IPアドレスの設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255 マスク長の設定範囲：1～32	なし/なし
送信先IPアドレス/マスク長 (DESTINATION IP/MASK)	全て/指定 (IPアドレス/マスク長) IPアドレスの設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255 マスク長の設定範囲：1～32	なし/なし
送信先ポート番号 (PORT)	全て/指定 (範囲指定) ポート番号の設定範囲：1～65535	なし

② 「追加」をクリックしてください。次のように管理用テーブルに追加されます。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「追加」をクリックしてください。

パケットフィルタ規則

方針 (POLICY)	<input type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 破棄
プロトコル種別 (PROTOCOL)	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> TCP <input type="radio"/> UDP <input type="radio"/> ICMP
入カウンタフェース (IN)	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> WAN <input type="radio"/> LAN <input type="radio"/> セッション1 <input type="radio"/> セッション2
出カウンタフェース (OUT)	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> WAN <input type="radio"/> LAN <input type="radio"/> セッション1 <input type="radio"/> セッション2
送信元IPアドレス/マスク長 (SOURCE IP/MASK)	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 指定 (192.168.1.1 / 32) クリック
送信先IPアドレス/マスク長 (DESTINATION IP/MASK)	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 指定 (192.168.1.5 / 32)
送信先ポート番号 (PORT)	<input type="radio"/> 全て <input type="radio"/> 指定 (100 / 21)

追加

POLICY	PROT	IN	SOURCE IP/MASK	OUT	DESTINATION IP/MASK	PORT
1	UDP	LAN	192.168.1.2/32	WAN	192.168.1.5/32/21	

追加

(3) 変更方法

① 変更するデータを選択し、データを変更します。

② 「変更」をクリックしてください。管理用テーブルが更新されます。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「変更」をクリックしてください。

(4) 削除方法

① 削除するデータを選択し「削除」をクリックしてください。管理用テーブルから選択したデータが削除されます。

(次ページに続く)

- 4 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。
- 5 「送信」をクリックします。
- 6 「反映」をクリックします。
システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

ルーティングテーブル設定 ルーティング条件（セッション1）

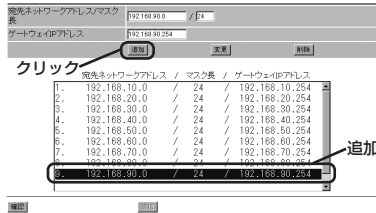
セッション1のルーティング条件を設定します。IPパケットを送出する時の経路表を固定的に設定できます。

- 1 サブメニューの「ルーティング条件（セッション1）」をクリックすると現在のデータ内容が画面に表示されます。

- (1) スタティックルーティングの設定
IPパケットが宛先ネットワークアドレスに届くまでの経路情報を設定します。
設定範囲：1～16パターン。
- (2) 追加方法
① 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
〈スタティックルーティング設定〉		
宛先ネットワークアドレス / マスク長	宛先ネットワークアドレス： 宛先ネットワークのIPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255 ・マスク長：サブネットマスク値を設定します。 設定範囲：1～32 ※設定例 宛先ネットワークアドレス：100.100.100.1 マスク長：24 のような設定はできません。 ⇒宛先ネットワークアドレス：100.100.100.0 のようにマスク長を考慮して設定してください。	なし
ゲートウェイIPアドレス	ゲートウェイIPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255	なし

- ②「追加」をクリックしてください。次のように管理用テーブルに追加されます。内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「追加」をクリックしてください。



(3) 変更方法

- ① 変更するデータを選択し、データを変更します。
- ② 「変更」をクリックしてください。管理用テーブルが更新されます。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「変更」をクリックしてください。

(4) 削除方法

- ① 削除するデータを選択し「削除」をクリックしてください。管理用テーブルから選択したデータが削除されます。

2 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

3 「送信」をクリックします。

4 「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

ルーティングテーブル設定 ルーティング条件（セッション2）

セッション2のルーティング条件を追加する場合には以下の手順で設定してください。IPパケットを送出する時の経路表を固定的に設定できます。

1 サブメニューの「ルーティング条件（セッション2）」をクリックすると現在のデータ内容が画面に表示されます。

追加するドメイン名

(1) 追加するドメイン名の設定

追加するドメインを設定します。追加方法は以下のとおりです。

設定範囲：最大16パターン。

(2) 追加方法

① 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
追加するドメイン名	設定範囲：英数字（0～9）、大文字/小文字アルファベット（a～z、A～Z）およびハイフン（-）、ピリオド（.）（1～最大63文字） ※先頭と最後は半角英数字を入力してください。 （先頭のピリオドは入力する必要はありません。） 設定例） flets ○ .flets ×（先頭がピリオド（.）のため）	なし

② 「追加」をクリックしてください。下図のように管理用テーブルに追加されます。内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「追加」をクリックしてください。

(3) 変更方法

① 変更するデータを選択し、データを変更します。

② 「変更」をクリックしてください。管理用テーブルが更新されます。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「変更」をクリックしてください。

(4) 削除方法

- ① 削除するデータを選択し「削除」をクリックしてください。管理用テーブルから選択したデータが削除されます。

追加する宛先ネットワークアドレス/マスク長

(1) 追加する宛先ネットワークアドレス/マスク長の設定

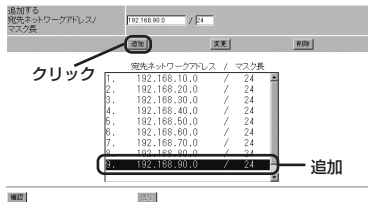
追加する宛先ネットワークアドレス/マスク長を設定します。追加方法は以下のとおりです。
設定範囲：1～16パターン。

(2) 追加方法

- ① 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
追加する宛先ネットワークアドレス/マスク長	<ul style="list-style-type: none"> 追加する宛先ネットワークアドレス： 宛先ネットワークのIPアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255 マスク長：サブネットマスク値を設定します。 設定範囲：1～32 ※ドメインとネットワークアドレスの両方を設定された場合はドメインのデータが優先されます。 ※設定例 宛先ネットワークアドレス：100.100.100.1 マスク長：24 のような設定はできません。 ⇒宛先ネットワークアドレス：100.100.100.0 のようにマスク長を考慮して設定してください。 	なし

- ② 「追加」をクリックしてください。下図のように管理用テーブルに追加されます。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「追加」をクリックしてください。



(3) 変更方法

- ① 変更するデータを選択し、データを変更します。
② 「変更」をクリックしてください。管理用テーブルが更新されます。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「変更」をクリックしてください。

(4) 削除方法

- ① 削除するデータを選択し「削除」をクリックしてください。管理用テーブルから選択したデータが削除されます。

(次ページに続く)

- 2 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。
- 3 「送信」をクリックします。
- 4 「反映」をクリックします。
システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

RIP設定

RIP設定に関するデータを変更することができます。

- 1 サブメニューの「RIP設定」をクリックすると現在のデータ内容が表示されます。

- 2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
〈各インタフェースのRIP設定〉		
LANインタフェース	LAN側インタフェースのRIPの有効／無効を選択してください。	無効
WANインタフェース	WAN側インタフェースのRIPの有効／無効を選択してください。 ※ネットワーク設定：動作モードがPPPoEモードのときはPPPoEセッション1の設定になります。	無効
PPPoEセッション2	WAN側インタフェースのRIPの有効／無効を選択してください。 ※ネットワーク設定：動作モードがPPPoEモードのときはPPPoEセッション2の設定になります。	無効

- 3 設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

- 4 「送信」をクリックします。

- 5 「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。



ワンポイント

- RIPのバージョン1に対応します。(クラスレスアドレスはご利用になれません。)

VPNパススルー設定

VPNパススルーに関するデータを変更することができます。本商品は、LAN側から発生するVPN通信の監視を行い、その通信の情報を元にWAN側からの通信を自動的にLAN側へ転送します。このため、LAN側から通信を開始する場合、VPNパススルーの設定を行う必要はありません。WAN側から通信を開始したい場合に、本設定を行ってください。

- 1 現在のPPTP、IPsec、L2TP各パススルー設定状態を表示します。サブメニューの「VPNパススルー設定」をクリックすると現在のデータ内容が表示されます。

- 2 現在の各パススルー設定に変更を入れる場合には各項目を設定します。

項目	内容	初期値
〈PPTPパススルー設定（サーバ公開）〉		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へPPTPパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効/有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255	(空白)
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：すべて/指定 WAN側IPアドレス指定時の設定範囲： 0.0.0.1～255.255.255.255	すべて
〈IPsecパススルー設定（サーバ公開）〉		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へIPsecパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効/有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255	(空白)
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：すべて/指定 WAN側IPアドレス指定時の設定範囲： 0.0.0.1～255.255.255.255	すべて

項目	内容	初期値
〈L2TPパススルー設定（サーバ公開）〉		
WANからLANへのアクセス	WAN側からLAN側へL2TPパススルーによるアクセスを許可するかどうかを設定します。 設定範囲：無効/有効	無効
LAN側IPアドレス	アクセスを許可するLAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：0.0.0.1～255.255.255.255	(空白)
WAN側IPアドレス	アクセスを許可するWAN側のホストアドレスを設定します。 設定範囲：すべて/指定 WAN側IPアドレス指定時の設定範囲： 0.0.0.1～255.255.255.255	すべて

3

すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4

「送信」をクリックします。

5

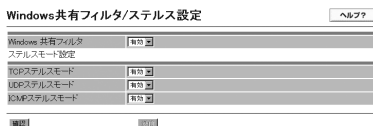
「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

Windows共有フィルタ/ステルス設定

外部からのアクセスに対して、本商品のセキュリティに関するデータを変更することができます。

- 1 サブメニューの「Windows共有フィルタ/ステルス設定」をクリックすると現在のデータ内容が表示されます。



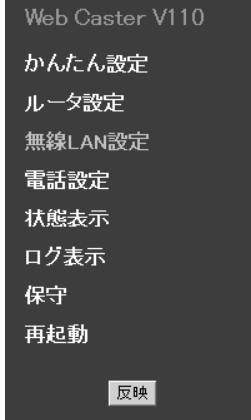
- 2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
Windows共有フィルタ	外部とのWindows共有関係 (Net BIOS) のトラフィックを遮断する場合「有効」に設定します。 有効/無効を選択してください。	有効
<ステルスモード設定>		
TCPステルスモード	TCPプロトコルにおける本商品へのアクセスに応答するかを設定します。有効にすると応答しません。 有効/無効を選択してください。	有効
UDPステルスモード	UDPプロトコルにおける本商品へのアクセスに応答するかを設定します。有効にすると応答しません。 有効/無効を選択してください。	有効
ICMPステルスモード	ICMPプロトコルにおける本商品へのアクセスに応答するかを設定します。有効にすると応答しません。 有効/無効を選択してください。	無効

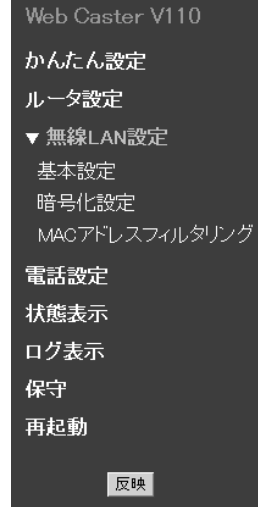
- 3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。
- 4 「送信」をクリックします。
- 5 「反映」をクリックします。
システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

無線LAN設定

- 1** 画面左メニューの「無線LAN設定」をクリックします。



- 2** サブメニューが表示されたら、変更したい項目をクリックします。



基本設定

基本設定に関する設定を変更することができます。
取扱説明書「無線LANを利用する」の「④ANY接続許可に変更する」を参照してください。

暗号化設定

暗号化設定に関する設定を変更することができます。
取扱説明書「本商品の接続とパソコンの設定」を参照してください。

MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリングに関する設定を変更することができます。無線端末のMACアドレスを登録することで、その端末からのアクセスを制限することができます。

- 現在のMACアドレスフィルタリングの設定状態を表示します。サブメニューの「MACアドレスフィルタリング」をクリックすると現在のデータ内容が表示されます。

- 現在の各MACアドレスフィルタリングに変更を入れる場合は各項目を設定します。

項目	内容	初期値
〈MACアドレスフィルタリング〉		
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスフィルタリングの有効/無効を設定します。「有効」に設定した場合は「デフォルトポリシー」および「フィルタリングするMACアドレスの情報設定」の設定をします。 設定範囲：無効/有効	無効
デフォルトポリシー	デフォルトポリシーの設定をします。※1 設定範囲：拒否/許可	拒否
〈フィルタリングするMACアドレスの情報設定〉		
MACアドレス	MACアドレスを設定をします。最大32件登録することができます。 (記入例：00：11：22：33：44：55)	(空白)
ポリシー	ポリシーを設定をします。※1 設定範囲：拒否/許可	許可

(次ページに続く)

Webブラウザによる設定について

※1 「デフォルトポリシー」と「フィルタリングするMACアドレスの情報設定のポリシー」との関係

デフォルトポリシー	フィルタリングするMACアドレスの情報設定 (ポリシー)	最終的なMACアドレス制限
拒否	登録データなし	すべてのMACアドレスからのアクセスを拒否します。
	登録データあり (拒否および許可)	許可で登録しているMACアドレスのみ許可し、その他のMACアドレスはすべて拒否します。
許可	登録データなし	すべてのMACアドレスからのアクセスを許可します。
	登録データあり (拒否および許可)	拒否で登録しているMACアドレスのみ拒否し、その他のMACアドレスはすべて許可します。

3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4 「送信」をクリックします。

5 「反映」をクリックします。

システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

電話設定

- 1** 画面左メニューの「電話設定」をクリックします。

Web Caster V110

かんたん設定

ルータ設定

無線LAN設定

電話設定

状態表示

ログ表示

保守

再起動

反映

- 2** サブメニューが表示されたら、変更したい項目をクリックします。

Web Caster V110

かんたん設定

ルータ設定

無線LAN設定

▼ 電話設定

サービス設定

IP電話設定情報

状態表示

ログ表示

保守

再起動

反映

サービス設定

サービス設定に関するデータを変更することができます。

- 1 サブメニューの「サービス設定」をクリックすると現在のデータ内容が表示されます。

- 2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
市外局番	市外局番を入力してください。	なし
加入電話回線種別	加入電話回線の契約（DP/PB）を設定してください。通常は「自動」をご利用ください。 設定範囲：DP/PB/自動	自動
ダイヤル桁間タイマ	ダイヤル入力してから発信までの時間を設定します。 ダイヤル入力が終了する前に発信してしまう場合には、長い時間を設定してください。 設定範囲：4秒/5秒/6秒/7秒/8秒	4秒
<利用中電話サービス>		
ナンバー・ディスプレイ	TELポートに接続する電話機のナンバー・ディスプレイ機能をご利用になる場合は「あり」を選択してください。 設定範囲：なし/あり ※加入電話回線経由でご利用される場合は当社のナンバー・ディスプレイサービスへの契約が必要です。	なし
キャッチホン	当社のキャッチホンに契約している場合は「あり」を選択してください。 設定範囲：なし/あり	なし
<バージョンアップお知らせ機能>		
バージョンアップ通知音	バージョンアップお知らせ機能で、通知音によるお知らせの、あり/なしを設定します。 「あり」に設定されていると、新しいファームウェアがある場合、受話器をあげたときの通知音（ピーピーピー）でお知らせします。通知音（ピーピーピー）が聞こえても、IP電話/加入電話は通常どおりかけることができます。 設定範囲：なし/あり	なし
<IP電話サービス>		
IP電話サービス	IP電話サービスの無効/有効を設定します。 設定範囲：無効/有効 ※「IP電話設定」を実施すると自動的に「有効」になります。	無効

項目	内容	初期値
発信時番号通知	184/186をダイヤルしないでIP電話サービスを利用して電話をかけた場合、お客様の電話番号を相手に通知するか否かを設定します。 設定範囲：非通知/通知	通知
割り込み音	当社の「キャッチホン」サービスに契約されていないお客様でお話し中にかかってきた電話をご利用のない場合は「なし」を選択してください。 注)「キャッチホン」を「あり」と選択した場合は「割り込み音」の選択はできません。 設定範囲：あり/なし	あり
IP電話 着信音選択	IP電話着信音を設定します。 選択範囲：IR/SIR ※IRおよびSIRに対応する着信音は以下のようになります。 IR：「ブルルルー」 SIR：「ブルルブルルル」	SIR
IP電話 非通知着信拒否	IP電話非通知着信拒否の無効/有効を設定します。 設定範囲：有効/無効 ※有効にすると、発信者番号が非通知の場合、着信を受け付けません。(IP電話のみ有効)	無効
IP電話 着信拒否電話番号	IP電話着信拒否をしたい電話番号を登録します。	なし

3

着信拒否リストを設定します。

- (1) IP電話からの着信について、特定の相手先からの着信を拒否したい場合に設定します。30番号まで登録できます。
- (2) 追加方法
- ① 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
IP電話 着信拒否電話番号	IP電話からの着信拒否を行う相手先電話番号を設定します。 設定範囲：0123456789 #* (48桁以内) 初期値：なし	なし

- ② 「追加」をクリックしてください。次のように管理用テーブルに追加されます。内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「追加」をクリックしてください。



- (3) 変更方法
- ① 変更するデータを選択し、データを変更します。
- ② 「変更」をクリックしてください。管理用テーブルが更新されます。内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「変更」をクリックしてください。
- (4) 削除方法
- 削除するデータを選択し「削除」をクリックしてください。管理用テーブルから選択したデータが削除されます。

(次ページに続く)

- 4 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。
- 5 「送信」をクリックします。
- 6 「反映」をクリックします。
システム更新終了後、設定した内容が有効になります。



ワンポイント

- 電話機から追加登録するには
電話機から「* * * 02」とダイヤルすることで追加登録することができます。詳細は「機能仕様」の「着信拒否」(●P3-3)を参照してください。
- 電話機から登録内容を消去するには
電話機から「* * * 03」とダイヤルすることで登録内容を一齐に消去することができます。詳細は「機能仕様」の「着信拒否」(●P3-3)を参照してください。
- Lモードサービスを使用するお客様は
「ナンバー・ディスプレイ」を「あり」に設定してください。
(当社のLモードサービスへの契約が必要です。)

IP電話設定情報

サービスプロバイダ (ISP) に登録されているIP電話に関する基本情報を確認することができます。また、変更することも可能です。

※本情報の詳細についてはサービスプロバイダ (ISP) にご確認ください。

※本情報を設定すると自動的にIP電話サービスは「有効」になります。

1 サブメニューの「IP電話設定情報」をクリックすると現在のデータ内容が画面に表示されます。

2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
SIPサーバアドレス	IP電話サービスで利用するSIPサーバのIPアドレス、またはFQDN (ホスト名)	なし
SIPサーバポート番号	IP電話サービスで利用するSIPサーバのポート番号	5060
REGISTERサーバアドレス	IP電話サービスで利用するREGISTERサーバのIPアドレス、またはFQDN (ホスト名)	なし
REGISTERサーバポート番号	IP電話サービスで利用するREGISTERサーバのポート番号	5060
SIPドメイン名	ユーザのSIPドメイン名	なし
ユーザID	IP電話サービス用のユーザID	なし
パスワード	IP電話サービス用のユーザパスワード	なし
IP電話番号	ユーザのIP電話番号	なし
市外局番	ユーザの市外局番	なし
アップデート確認用URL	プロバイダから指定されたバージョンアップお知らせ用サーバのURLが入力されています。削除しますと自動バージョンアップができなくなります。	http://www.cpeinfo.jp/

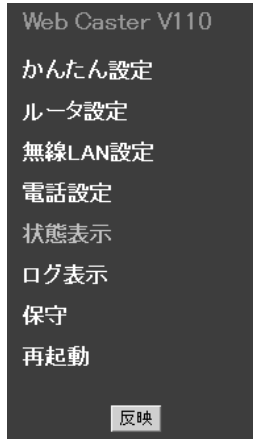
(次ページに続く)

- 3 設定が終了したら「確認」をクリックします。
内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。
- 4 「送信」をクリックします。
- 5 「反映」をクリックします。
システム更新終了後、設定した内容が有効になります。

状態表示

本商品の状態を表示することができます。

- 1 画面左メニューの「状態表示」をクリックすると、現在の装置状態が表示されます。



(次ページに続く)

Webブラウザによる設定について

- 2 本商品の状態を確認します。(30秒毎に最新の状態を表示します。)
各データの説明を次に示します。

状態表示		ヘルプ?
バージョン	1970年01月02日 08時19分	
	現在のバージョン	最新のバージョン
ファームウェアバージョン	V3.00.0000	V3.00.0000
アップデート状態	新しい更新はありません。	
ファームウェア手動アップデート		
ファームウェア更新	<input type="button" value="更新確認"/>	<input type="button" value="ダウンロード実行"/>
動作状態		
DSP状態	正常	
SLIC状態	正常	
IP電話回線状態	利用可	
加入電話回線状態	利用可	
CALLTEL状態	正常	
PPPoE状態(セッション1)	正常	
PPPoE状態(セッション2)	正常	
WANポート状態	正常	
LAN 1 ポート状態	正常	
LAN 2 ポート状態	正常	
LAN 3 ポート状態	正常	
LAN 4 ポート状態	正常	
運用設定値		
WAN側 MACアドレス	80-00-07-00-00-01	
LAN側 MACアドレス	80-00-07-00-00-01	
WAN側取得IPアドレス / マスク長	192.168.1.104	
WAN側取得デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1	
セッション2: WAN側取得IPアドレス / マスク長	192.168.2.104	
SIPサーバ IPアドレス	192.168.1.1	
UPnP CPグローバルアドレス	192.168.1.1	
加入電話回線種別	PB	
PPP手動接続		
セッション1	<input type="button" value="接続"/>	<input type="button" value="切断"/>
セッション2	<input type="button" value="接続"/>	<input type="button" value="切断"/>

(1) バージョン

本商品のファームウェアの状態を表示します。現在時刻を右上に表示しています。

項目	内容
ファームウェアバージョン	<p>■現在のバージョン 現在のファームウェアバージョンを表示します。</p> <p>■最新のバージョン アップデートサーバで公開されているファームウェアバージョンを表示します。</p>
アップデート状態	<p>本商品のファームウェアのアップデート状態を表示します。</p> <p>①「新しい更新はありません」 本商品に最新版のファームウェアが登録されている状態です。通常はこの表示になります。</p> <p>②「更新を確認しています」 サーバへファームウェアの登録情報を確認している状態です。</p> <p>③「新しい更新があります。ダウンロードを実行すると、ファームウェアが更新されます」 サーバに最新のファームウェアが登録された状態です。本商品のファームウェアを更新してください。</p> <p>④「更新の確認に失敗しました」 サーバのファームウェア登録状況確認が正常終了しなかった状態です。</p> <p>⑤「ファームウェアをダウンロード中です」 サーバのファームウェアを本商品にダウンロードしている状態です。</p> <p>⑥「ファームウェアのダウンロードに失敗しました」 サーバから本商品へのファームウェアダウンロードが正常に終了しなかった状態です。</p> <p>⑦「ファームウェアの更新に失敗しました」 ファームウェア更新が正常終了しなかった状態です。</p> <p>⑧「新しい更新があります」 ファームウェアの更新が完了していません。「更新確認」をクリックして、最新版のファームウェアを再度確認してください。</p>

(2) ファームウェア手動アップデート

ファームウェア手動アップデートについては、取扱説明書「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」を参照してください。

(3) 動作状態

各所の状態を表示します。

項目	内容
DSP状態	<p>信号変換制御部の状態を表示します。</p> <p>「正常」：通常は「正常」と表示します。</p> <p>「異常」：本商品の電源を入れ直してください。それでも「正常」とならない場合は、当社、故障受付にお問い合わせください。</p>
SLIC状態	<p>TEL制御部の状態を表示します。</p> <p>「正常」：通常は「正常」と表示します。</p> <p>「異常」：本商品の電源を入れ直してください。それでも「正常」とならない場合は、当社、故障受付にお問い合わせください。</p>
IP電話回線状態	<p>IP電話サービスの利用状況を表示します。</p> <p>「利用可」：利用可能（通話待ち）です。</p> <p>「利用中」：通話中です。</p> <p>「利用不可」：利用不可能です。（取扱説明書「お困りのときには」）</p> <p>「利用停止」：利用停止しています。「機能仕様」の「IP電話サービス利用停止」(☛P3-4)</p>

(次ページに続く)

Webブラウザによる設定について

項目	内容
加入電話回線状態	加入電話回線の利用状況を表示します。 「利用可」：利用可能(通話待ち)です。 「利用中」：通話中です。 「直結中」：加入電話回線のみご利用可能な状態です。(IP電話サービスはご利用できません。)(取扱説明書「お困りのときには」) 「利用不可」：利用できません。電話機コードが抜けている可能性があるため、取扱説明書「回線を接続する」を参照して本商品と電話機が正常に接続されていることを確認してください。また本商品の起動直後はこの状態となります。この場合はしばらくお待ちください。
CALLTBL状態	IP電話回線と加入電話回線の回線選択データベースの状態を表示します。 「正常」：通常は「正常」と表示します。 「異常」：本商品の電源を入れ直してください。それでも「正常」とならない場合は、当社、故障受付にお問い合わせください。
PPPoE状態 (セッション1、セッション2)	WAN (セッション1、セッション2) 側のネットワークの状態を表示します。 「正常」：インターネットに接続できます。 「異常」：インターネットに接続できていません。(取扱説明書「お困りのときには」) 「認証エラー」：PPPの認証エラーです。インターネットに接続できていません。(取扱説明書「お困りのときには」) 「未使用」：PPPoEを利用していない状態です。
WANポート状態	WAN側インタフェースのリンク状態を表示します。 「正常」：回線が正常に接続されています。 「異常」：回線の接続が異常または未使用の状態です。
LAN1～4ポート状態	LAN1～LAN4側インタフェースの各リンク状態を表示します。 「正常」：回線が正常に接続されています。 「異常」：回線の接続が異常または未使用の状態です。

(4) 運用設定値
装置情報を表示します。

項目	内容
WAN側MACアドレス	本商品のWAN側のMACアドレスを表示します。
LAN側MACアドレス	本商品のLAN側のMACアドレスを表示します。
WAN側取得IPアドレス/マスク長	本商品のWAN側が取得しているIPアドレスおよびサブネットマスクを表示します。
WAN側取得デフォルトゲートウェイ	本商品のWAN側が取得しているデフォルトゲートウェイを表示します。
セッション2：WAN側取得IPアドレス/マスク長	本商品のWAN (セッション2) 側が取得しているIPアドレスおよびサブネットマスクを表示します。
SIPサーバIPアドレス	本商品が使用しているSIPサーバのIPアドレスを表示します。
UPnP CPグローバルアドレス	本商品が正常にアダプタモードとして起動している場合に、取得したIPアドレスが表示されます。
加入電話回線種別	接続している電話回線の回線種別を表示します。 ダイヤルパルス回線の場合：「DP」 プッシュホン回線の場合：「PB」 回線種別が未決定の場合：「不明」

(5) PPP手動接続

PPPへの接続/切断を指示します。PPPoE設定「接続先設定」で指定したセッション1およびセッション2の「接続」/「切断」を指示することができます。

PPP手動接続	
セッション1	接続 切断
セッション2	接続 切断

- ① 本機能を実施する前に、セッション1およびセッション2のPPPoE状態を画面左メニューの「状態表示」でご確認ください。
 - ・「正常」の場合→「切断」をクリックするとPPPを切断します。
 - ・「正常」以外の場合→「接続」をクリックするとPPPを接続します。
- ② ボタンをクリックすると結果を表示します。

(例) セッション1の「接続」をクリックし接続が正常終了した場合（無通信監視タイマ：無効）

状態表示		ヘルプ?
PPP手動接続		
実行セッション	セッション1	
実行内容	接続	
結果		
接続完了		
PPPの接続が正常に行われました。		

図5

項目	内容
セッション1 セッション2	<p>接続：接続完了： PPPの接続が正常に行われました。</p> <p>設定完了： PPPoEの無通信監視の設定が完了しました。接続するPPPoEの「無通信監視タイマ」に時間を指定したときは「接続」をクリックしただけではPPPoEへの接続は行いません。「無通信監視タイマ」によるセッションの切断監視が可能になります。</p> <p>接続失敗： ネットワークに問題があるため、PPPの接続が行えませんでした。しばらく待ってもう一度お試しください。この問題が続くときは、当社、故障受付にお問い合わせください。</p> <p>認証エラー： PPPoE設定「接続先設定」で指定した接続先の情報が正しく設定されていません。設定内容をご確認の上、もう一度お試しください。</p> <p>接続処理中： 現在、接続中です。しばらく待って状態表示画面のPPPoE状態をご確認ください。</p> <p>既に接続中： 既にPPPが接続されています。</p> <p>エラー： PPPの「接続先」または「接続先情報」が設定されていません。PPPoE設定画面の「接続先設定」と「接続先」を設定してください。</p>
	<p>切断：切断完了： PPPの切断が正常に行われました。</p> <p>未接続： PPPの接続が行われていません。 (注) 動作モードが「PPPoE」以外の場合に実施すると本表示となります。</p> <p>通話中： 通話中のため、PPPの切断を行うことができません。通話を終了してから、もう一度実行してください。</p> <p>切断処理中： 現在、切断中です。しばらく待って状態表示画面のPPPoE状態をご確認ください。</p>

(次ページに続く)

**お知らせ**

- PPPoE設定でセッション1またはセッション2の情報を変更し、「確認」「送信」のあとに接続確認を行い、接続できることが確認できても「反映」でシステム更新しないと本商品に反映されないのをご注意ください。

ランプの種類	ランプのつき方
電源ランプ	点灯（緑）
アラームランプ	消灯
PPPランプ	消灯：オフライン状態（セッション未接続） 点灯（緑）：1セッション接続時 点灯（橙）：2セッション接続時
VoIPランプ	点灯（緑）
電話ランプ	点灯（橙）
WANランプ	点灯（緑）または点滅（緑）
INITランプ	消灯
APランプ	消灯

③「戻る」をクリックしてください。（「状態表示画面」に戻ります。）

※セッション1またはセッション2の接続先を変更したい場合は「切断」をクリック後、PPPoE設定「接続先設定」の接続先を変更して、「接続」をクリックしてください。

ログ表示

本商品の利用状況を表示することができます。

- 1** 画面左メニューの「ログ表示」をクリックします。

Web Caster V110

かんたん設定

ルータ設定

無線LAN設定

電話設定

状態表示

ログ表示

保守

再起動

反映

- 2** サブメニューが表示されたら、変更したい項目をクリックします。

Web Caster V110

かんたん設定

ルータ設定

無線LAN設定

電話設定

状態表示

▼ ログ表示

障害ログ表示

通話ログ表示

保守

再起動

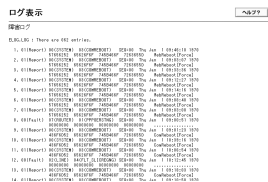
反映

Webブラウザによる設定について

障害ログ表示

本商品の障害状況を表示することができます。
通常は表示する必要はありません。故障時の調査などに使用します。

1 サブメニューの「障害ログ表示」をクリックします。



- 【注1】 分類コード
00 (Fault) : 障害
01 (Report) : 通知
10 (Remove) : 復旧
- 【注2】 装置コード 障害の発生箇所。
- 【注3】 詳細コード 装置コード毎の種別。
- 【注4】 SEQ番号 障害の発生した位置 (セッション番号など) を示します。
- 【注5】 ログが出力された日時

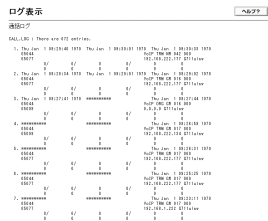
【フォーマット】

【注1】 AA(aaa) 【注2】 BB(bbb) 【注3】 CC(cccc) 【注4】 SEQ=dd 【注5】 www mmm dd hh:mm:ss yyyy
XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

通話ログ表示

本商品の通話状況を表示することができます。

1 サブメニューの「通話ログ表示」をクリックします。



- 【注1】 発着信日時
- 【注2】 通話開始日時
- 【注3】 通話終了日時
- 【注4】 本商品のIP電話番号 (050)
- 【注5】 電話サービス使用状況 VoIP:IP電話/PSTN:加入電話
- 【注6】 発着信 ORG=発信 (電話をかけた) /TRM=着信 (電話がかかってきた)
- 【注7】 相手先電話番号

【フォーマット】

【注1】 www mmm dd hh:mm:ss yyyy 【注2】 www mmm dd hh:mm:ss yyyy 【注3】 www mmm dd hh:mm:ss yyyy
【注4】 AAAAAAAAAA 【注5】 BBBB 【注6】 CCC XX XXX XXX
【注7】 DDDDDDDDDDD XXX.XXX.XXX.XXX XXXXX
XXX/ XXX/ XXX XXX/ XXX XXX
XXX XXX XXX XXX XXX XXX

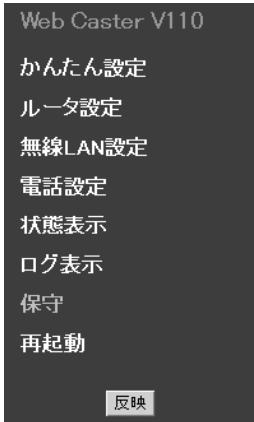


お知らせ

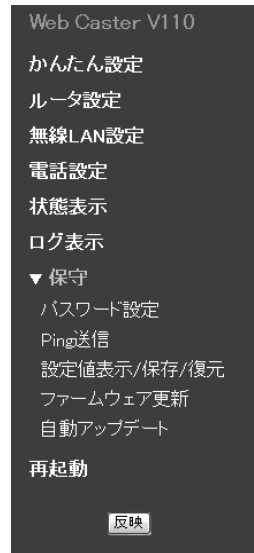
- フォーマットは予告なく変更される場合があります。
- 電源断によって、障害ログ表示内容や通話ログ表示内容が消去される場合があります。

保守

- 1 画面左メニューの「保守」をクリックします。



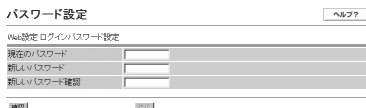
- 2 サブメニューが表示されたら、保守を実施したい保守項目をクリックします。



パスワード設定

Web設定ログインパスワードを変更することができます。

1 サブメニューの「パスワード設定」をクリックします。



2 各項目を設定します。

項目	内容	初期値
<Web設定ログインパスワード設定>		
現在のパスワード	現在使用しているパスワードを入力します。	なし
新しいパスワード	新しいパスワードを設定します。 設定範囲：1～10文字以内、半角英数字および記号（ただし、記号「 」「;」「空白」を除く）	なし
新しいパスワード確認	確認のため、もう一度「新しいパスワード」を設定してください。	なし

3 すべての設定が終了したら「確認」をクリックします。

内容が不正な場合は、正しい値を再度入力し「確認」をクリックしてください。正しい値を入力した場合は「送信」が有効になります。

4 「送信」をクリックします。

ネットワークパスワード入力画面が表示されます。



5 ユーザ名 (admin) および新しいパスワードを入力してください。

(注)「反映」を押下せずにシステム更新した場合、新しいパスワードが本商品に反映されませんのでご注意ください。

Ping送信

相手装置にPingを送信して正常に接続されていることを確認することができます。通常は実施する必要はありません。故障時の調査などに使用します。

1 サブメニューの「Ping送信」をクリックします。



2 各項目を設定します。

項目	内容
送信先IPアドレス	Pingの送信先IPアドレスを設定します。 設定後、「実行」をクリックしてください。(Ping送信されます。)結果が表示されます。 相手先と正常に通信が行われている場合→「通信に成功しました。」 相手先と正常に通信が行われていない場合→「通信できませんでした。」

設定値表示／保存／復元

設定値の表示・保存・復元を行うことができます。



(1) 設定値表示

設定データの内容を確認できます。

通常は実施する必要はありません。故障時の調査などに使用します。

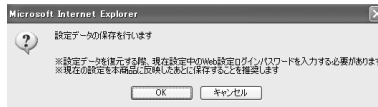
1 サブメニューの「設定値表示/保存/復元」をクリックします。

2 初期値と異なるデータを表示します。

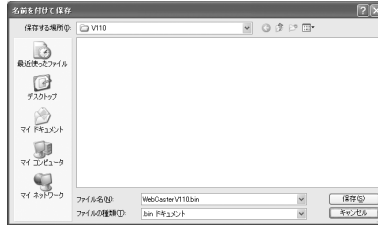
(2) 設定値の保存

本商品の設定値をパソコンに保存することができます。

- 1 サブメニューの「設定値表示/保存/復元」をクリックします。
- 2 保存を選択します。
- 3 実行ボタンをクリックします。
クリックするとダイアログが表示されますので、OKボタンをクリックしてください。



- 4 任意のフォルダへファイルをダウンロードします。



お知らせ

- Windows[®] XP (サービスパック2) をご利用の場合、Internet Explorerのセキュリティ保護のため情報バーが表示される場合があります。
情報バーをクリックし [ファイルのダウンロード] を選択してから、もう一度手順をやり直してください。

(3) 設定値の復元

本商品に異常があった場合や設定値を前の状態に戻したいときに実施する操作です。
パソコンに保存した設定値を本商品へ復元します。

1 サブメニューの「設定値表示/保存/復元」をクリックします。

2 復元を選択します。

3 各項目を設定します。

項目	内容
パスワード	設定値を保存した時のWeb設定ログインパスワードを入力します。
ファイル	設定値を保存したファイルを選択します。

4 実行ボタンをクリックします。

クリックするとダイアログが表示されますので、OKボタンをクリックしてください。
再起動が行われます。



⚠ 注意

- この間、電源をOFFにしないでください。回復不能な故障の原因となります。

ファームウェア更新

取扱説明書「バージョンアップ」を参照してください。

自動アップデート

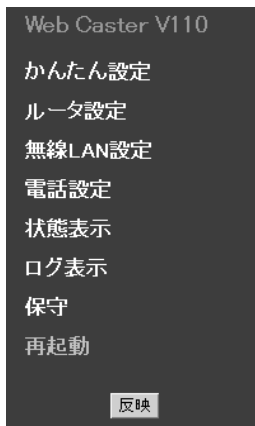
ファームウェアの自動バージョンアップに関する設定を確認できます。「ファームウェア更新確認情報設定」画面の「自動アップデート機能設定」と同じ内容になります。取扱説明書「バージョンアップ」を参照してください。

再起動

本商品のシステム更新を行うことができます。設定を変更した後、装置に反映させる場合に利用します。

また、本商品を初期設定に戻す場合に利用します。

1 画面左メニューの「再起動」をクリックします。



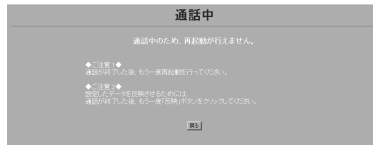
2 各ボタンの説明

項目	内容
反映	Webブラウザで設定したデータを本商品へ反映し、システム更新を行います。
再起動	システム更新を行います。
初期設定へ戻す	初期設定へ戻します。 (注) お客様が設定したデータはすべて失われます。 取扱説明書「1 最初に確認しましょう」の「セットアップする」をお読みになり、もう一度設定し直してください。

3 ご使用方法によって以下の操作を行います。

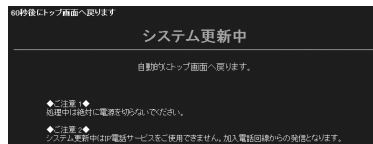
① ボタンをクリックします。

通話中にボタンをクリックした場合、操作は無効になります。以下の画面を表示しますので「戻る」をクリックし、通話終了後もう一度実行してください。



② 実行中は以下の画面が表示されるので、しばらくお待ちください。

⚠ 注意	● この間、電源をOFFにしないでください。回復不能な故障の原因となります。
-------------	--



③ システム更新を終了します。

「かんたん設定」画面に戻ります。

※手順2で「初期設定へ戻す」を選択した場合には、「初期設定」画面が表示されます。

Webブラウザによる設定の終了

1 Webブラウザの[ファイル]-[閉じる]をクリックまたは、画面右上の をクリックします。

設定を変更した場合、Webブラウザを終了する前に「反映」をクリックし、設定内容を本商品に反映させてください。

3

付録

本章では本商品のサービス機能について説明しています。また、付録として用語集、設定記入シートを載せましたので活用してください。

機能仕様	3-2
用語集	3-11
索引	3-19
設定記入シート	3-21

電話機能

サービス機能	内 容	Web画面
発信時の基本動作	相手に電話をかけて通話することができます。(取扱説明書「電話をかける(発信)」)	
着信時の基本動作	相手からの電話を受けて通話することができます。(取扱説明書「電話を受ける(着信)」)	
話中時などの動作	相手が話中などで電話がつかない場合は、つながらないことが音で通知されます。(取扱説明書「相手がお話し中のとき」)	
お話し中にかかってきた電話を受けるには	お話し中でもかかってきた電話に出ることができます。(取扱説明書「お話し中にかかってきた電話に出る」)	サービス設定 ([利用中電話サービス]キャッチホン・[IP電話サービス]割り込み音)
緊急通報 (110/118/119) 発信	緊急時は110/118/119をダイヤルし警察/消防へ連絡することができます。 (注) ハンドセット(受話器)を置いてもしばらくIP電話サービスをご利用できない場合があります。	
発信者番号通知/拒否 ダイヤル (184/186) 発信	相手先番号の前に184/186をダイヤルすることで相手に自分の電話番号を通知する/しないを指定することができます。(取扱説明書「発信者番号の通知と表示」)	サービス設定 ([IP電話サービス]発信時番号通知)
ナンバー・ディスプレイ	電話がかかってきたときの相手先電話番号が電話機のディスプレイに表示されます。 (取扱説明書「かけてきた相手の電話番号を表示するには(ナンバー・ディスプレイ)」) (注) ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要になります。	サービス設定 ([利用中電話サービス]ナンバー・ディスプレイ)

サービス機能	内 容	Web画面
着信拒否	<p>迷惑電話などを防止するため、IP電話サービス電話番号に着信した場合、相手からの呼び出しを次回以降拒否することができます。</p> <p>(1) 登録方法</p> <p>① 通話終了後、ハンドセット（受話器）を取りあげ「* * *02」をダイヤルしてください。</p> <p>② ダイヤルが終了すると「プブ」という音が聞こえますのでハンドセット（受話器）を置いてください。それで登録が終了です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録は最大30件まで可能です。30件以上登録した場合は古い方から削除されます。 <p>(2) 解除方法</p> <p>① ハンドセット（受話器）を取りあげ「* * *03」をダイヤルしてください。</p> <p>② ダイヤルが終了すると「プブ」という音が聞こえますのでハンドセット（受話器）を置いてください。それで解除が終了です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録したダイヤルはすべて解除されます。個々のダイヤルの解除はできません。 <p>※ プッシュホン信号を送出できる電話機をご利用ください。（信号種別を変更できる電話機をご利用の場合は、「PB」に切り替えればご利用になれます。）</p> <p>※ 従来の加入電話回線に対し着信拒否を行いたい場合は「迷惑電話おことわりサービス」（有料）をご契約ください。</p>	サービス設定 （[IP電話サービス] IP電話 着信拒否 電話番号）
ファクス通信	<p>相手とファクスの送信/受信ができます。</p> <p>(注) ファクス通信中に割り込み音が入ると通信が切断されます。確実にファクス通信を行いたい場合は、サービス設定で「割り込み音」を「なし」に設定してください。</p>	
プッシュホン信号による各種サービス対応	<p>プッシュホン電話機からダイヤルをすることで留守番電話機のサービスなど各種サービスを受けることができます。</p>	
加入電話選択発信	<p>加入電話を選択して発信したいときは「0000」をダイヤルしてから相手番号をダイヤルします。</p> <p>(注) このときの通話料金はお客様が契約されている電話会社からの請求となります。</p>	
Lモード	<p>Lモードサービスがご利用になれます。</p> <p>(注) Lモードの契約、Lモード対応電話機が必要になります。</p> <p>(注) ご利用の電話機によっては、正常に通信できない可能性があります。</p>	サービス設定 （[利用中電話サービス] ナンバー・ディスプレイ）

(次ページに続く)

機能仕様

サービス機能	内 容	Web画面
加入電話自動迂回	IP電話サービス提供外の番号へダイヤルしたときは自動的に加入電話へ再発信されます。そのとき「ブブブ」という断続音のあとに「ブー」という音が聞こえます。	
IP電話サービス利用停止	IP電話サービスのご利用を規制します。(無条件で加入電話回線を選択します。) お客様が一時的にIP電話サービスのご利用を停止する場合に利用します。 (1) 停止方法 ① ハンドセット (受話器) を取りあげ「* * * 04」をダイヤルしてください。 ② ダイヤルが終了すると「ブブ」という音が聞こえますのでハンドセット (受話器) を置いてください。それで登録が終了です。 (2) 開始方法 ① ハンドセット (受話器) を取りあげ「* * * 05」をダイヤルしてください。 ② ダイヤルが終了すると「ブブ」という音が聞こえますのでハンドセット (受話器) を置いてください。それで登録が終了です。 ※プッシュホン信号を送出できる電話機をご使用ください。(信号種別を変更できる電話機を使用されている場合は、「PB」に切り替えればご使用になれます。)	サービス指定 ([IP電話サービス] IP電話サービス)
IP電話非通知着信拒否	発信者番号が非通知の着信を受けたくない場合、着信を拒否することができます。 ※IP電話のみご利用になれる機能です。	サービス設定 ([IP電話サービス] IP電話非通知着信拒否)

ルータ機能

サービス機能	内 容	Web画面
PPPoE接続 (マルチセッション対応)	PPPoEサーバより認証およびIPアドレスなどを取得することで本商品が外部と通信することができます。PPPoEマルチセッションにも対応します。セッションは2つ同時に接続することができます。	ネットワーク設定 (動作モード) PPPoE設定
DHCPクライアント	DHCPサーバよりIPアドレスなどを取得することで本商品が外部と通信することができます。	ネットワーク設定 (動作モード)
固定IP	IPアドレスなどをあらかじめプロバイダ(ISP)から取得し、本商品に固定的に設定することで本商品が外部と通信することができます。	ネットワーク設定 (動作モード)

サービス機能	内 容	Web画面
DNSリレー	LAN側から本商品へのDNS問い合わせをPPPやDHCPサーバなどから取得したDNSサーバアドレスへ中継し、名前解決を実施します。DNSへの問い合わせをセッション1/セッション2に振り分けることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク設定 （[DNSリレー設定]DNSサーバアドレス） ルーティング条件 （セッション2）
NTP機能	ネットワークを介して時刻を調整するプロトコルです。具体的には、本商品の内部時計を、インターネット上に存在するNTPサーバを介して時刻を調整します。	ネットワーク設定 （[NTPサーバ設定]NTPサーバIPアドレス）
Unnumbered接続	他のネットワークに接続するルータのWAN側ポートにIPアドレスを割り当てず、2台のルータを見かけ上1台のルータのように扱う接続方式です。Unnumberedで運用されているルータはLAN側のみIPアドレスを持ちます。 Unnumbered接続を行う場合、2台のルータが繋がっているネットワークに他のコンピュータがいるとパケットの行き先が確定しなくなるため、ルータどうしが直結している必要があります。 PPPoE接続ではプロバイダ(ISP)側のルータと本商品は直結しているため、Unnumberedでの接続が可能です。IPアドレス/マスク長はLAN側のIPアドレス/マスク長を設定してください。	PPPoE設定 （IPアドレス指定）
DHCPサーバ機能	IPアドレスやDNSサーバのIPアドレス、サブネットマスクなどLAN側のパソコンに割り当ててもよいIPアドレスの範囲などが設定されており、DHCPプロトコルを介してアクセスしてきたLAN側のパソコンにこれらの情報を提供する機能です。	DHCPサーバ設定
IPマスカレード機能 (NAPT)	グローバルに割り当てたIPアドレスをLAN側の端末が共有してWAN側と通信を行うことができます。端末のIPアドレスが外部に流出することを防ぐことができます。	NAPT設定
UPnP機能	特別な設定なしに機器をLANに接続し通信することができます。アプリケーションがアドレス変換を考慮して送受信パケットを作成するためNAPT機能などを実装していても通信が可能です。マルチセッション使用時は設定により一方のセッションのみ制御可能となります。	NAPT設定 （UPnP設定）

機能仕様

サービス機能	内 容	Web画面																				
簡易DMZ	グローバル側からのアクセスを特定の端末へすべて転送します。NAPTを使用すると通信が行えないネットワークゲームなどに使用するとき用います。バーチャルコンピュータ (Virtual Computer) とも称します。	NAPT設定 (簡易DMZ IPアドレス)																				
サーバホスティング機能	グローバル側の指定ポートへのアクセスを指定端末の指定ポートへ転送します。LAN側のサーバをインターネットに公開する場合用います。	NAPT設定 (静的NAPT設定)																				
IPアドレス/ポートフィルタ機能	WAN側およびLAN側からのアクセスをIPアドレス/ポート番号を指定することで外部からの不正なアクセスを規制します。セッション1/セッション2からのアクセス規制も可能です。	IPフィルタ設定																				
ルーティング (静的)	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能です。経路情報を固定的に設定します。セッション1/セッション2への設定が可能です。	ルーティングテーブル設定 ルーティング条件 (セッション1) ルーティング条件 (セッション2)																				
VPN (バーチャルプライベートネットワーク) 機能	LAN側のプライベートIPアドレスを持つVPNクライアントのパケットを、WAN側への通過させ、WAN側を経由してもう一方のLAN側のプライベートIPアドレスをもつサーバへアクセスを可能にする機能です。 サポートしているプロトコルは、PPTP、IPSec、L2TPの3種類です。	VPNパススルー設定																				
SPI (ステートフルパケットインスペクション) 機能	ファイアウォールを通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して動的にポートを開放・閉鎖する機能です。 SPI機能のタイム値は以下のような固定値となります。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>SPI機能</th> <th>タイム値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICMP アイドルタイムアウト</td> <td>30秒</td> </tr> <tr> <td>UDP アイドルタイムアウト</td> <td>30秒</td> </tr> <tr> <td>UDP STREAMタイムアウト</td> <td>180秒</td> </tr> <tr> <td>TCP ESTABLISHEDタイムアウト</td> <td>432000秒 [5日]</td> </tr> <tr> <td>TCP SYNSENTタイムアウト</td> <td>120秒 [2分]</td> </tr> <tr> <td>TCP SYNRECVタイムアウト</td> <td>60秒</td> </tr> <tr> <td>TCP FINWAITタイムアウト</td> <td>120秒 [2分]</td> </tr> <tr> <td>TCP TIMEWAITタイムアウト</td> <td>120秒 [2分]</td> </tr> <tr> <td>TCP CLOSEタイムアウト</td> <td>10秒</td> </tr> </tbody> </table>	SPI機能	タイム値	ICMP アイドルタイムアウト	30秒	UDP アイドルタイムアウト	30秒	UDP STREAMタイムアウト	180秒	TCP ESTABLISHEDタイムアウト	432000秒 [5日]	TCP SYNSENTタイムアウト	120秒 [2分]	TCP SYNRECVタイムアウト	60秒	TCP FINWAITタイムアウト	120秒 [2分]	TCP TIMEWAITタイムアウト	120秒 [2分]	TCP CLOSEタイムアウト	10秒	
SPI機能	タイム値																					
ICMP アイドルタイムアウト	30秒																					
UDP アイドルタイムアウト	30秒																					
UDP STREAMタイムアウト	180秒																					
TCP ESTABLISHEDタイムアウト	432000秒 [5日]																					
TCP SYNSENTタイムアウト	120秒 [2分]																					
TCP SYNRECVタイムアウト	60秒																					
TCP FINWAITタイムアウト	120秒 [2分]																					
TCP TIMEWAITタイムアウト	120秒 [2分]																					
TCP CLOSEタイムアウト	10秒																					

サービス機能	内 容	Web画面
ルーティング (動的)	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能です。自動的に経路情報を設定します。 RIP version 1に対応します。	RIP設定
Windows共有フィルタ	NetBIOS使用による情報の外部流出を防止することができます。	Windows共有フィルタ/ステルス設定 (Windows共有フィルタ)
ステルス機能	WAN側からの不正アクセスを防止します。 本商品はTCPパケット/UDPパケット/ICMPパケットのそれぞれのアクセスを防止する/しないを選択することができます。 TCPステルスモード TCPプロトコル上で使用可能となっていないポートに対して送られたパケットに回答しません。 UDPステルスモード UDPプロトコル上で使用可能となっていないポートに対して送られたパケットに回答しません。 ICMPステルスモード ICMPパケット (障害発生時やネットワーク管理のために使用するパケット) に回答しません。	Windows共有フィルタ/ステルス設定 (ステルスモード設定)
IPv6ブリッジ	動作モードがPPPoEの場合にIPv6パケットをブリッジします。 PPPoEセッション1/2が接続中でも使用できます。	ネットワーク設定 (IPv6ブリッジ設定)
PPPoEブリッジ	動作モードがPPPoEの場合にPPPoEフレームをブリッジします。 フレッツ・コネクトやフレッツ・コミュニケーションなどのサービスを利用するときに使用します。	ネットワーク設定 (PPPoEブリッジ設定)
アダプタ機能	フレッツ・光プレミアム用の動作モードです。 UPnP IGD機能を有効としているNTT西日本提供の加入者網終端装置 (CTU) と接続し、UPnP CP機能を使用して、電話アダプタとして動作します。	

無線機能

サービス機能	内 容	Web画面
無線LAN	無線LANカード (FT-STC-Va/g) を本商品に装着することにより、IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11a準拠の無線LANのアクセスポイントとして動作します。無線LANクライアントPCと無線LAN通信を行うことができます。	無線設定 (基本設定)
MACアドレスフィルタリング	無線LANクライアントPCからのアクセスを、MACアドレスによって制限することができます。	無線設定 (MACアドレスフィルタリング)
ANY接続	無線LANクライアントPCからの接続をすべて受け入れる設定 (ANY接続) が行えます。	無線設定 (基本設定)
暗号化	無線LANネットワーク内のデータを他人に見られたり、不正に利用されないための通信データの暗号化する機能があります。暗号化方式としては以下のものをサポートしています。 1) WEP 無線LANの一般的な暗号化方式です。暗号化キーを使用して通信します。 2) Pass Phrase WEPキー生成アルゴリズムです。 3) TKIP WEPをさらに強固にした方式です。事前共有キー (WPA-PSK) を使用して通信します。 4) PSK アクセスポイント側とクライアント側に共通の文字列をPre-Shared key (PSK) として登録しておき、これを認証に利用します。	無線設定 (暗号化設定)

その他

サービス機能	内 容	Web画面
WAN側/LAN側 自動認識	WAN側/LAN側は以下のインタフェースを利用することが可能です。(接続すると自動的に識別するため本商品のデータ変更は必要ありません。) 固定設定も可能です。 LAN側は各ポート毎に設定が可能です。 ・100BASE-TX (IEEE802.3u) ・10BASE-T (IEEE802.3)	ネットワーク設定 ([ポート設定] WAN ポート設定 /LAN1~4 ポート設定)
パソコンの複数接続	LAN側が4ポート収容可能であり複数台のパソコンを接続することができます。また、無線機能をご使用することでも複数台のパソコンを本商品に接続することができます。	ネットワーク設定 他
停電中の扱い	停電中はIP電話サービスをご利用できません。(加入電話回線のご利用となります。)	
Webブラウザによる 設定	Webブラウザをご利用いただくことで本商品の各種条件の変更や状態を確認することができます。 (「2 詳細設定方法」(P2-1))	ネットワーク設定 (LAN側IPアドレ ス/マスク長) パスワード設定 (Web設定ログイン パスワード設定)
バージョンアップ (自動バージョンアッ プ機能を利用してバー ジョンアップする)	本商品がインターネット上の当社のサーバに登録された最新のファームウェアを確認したときに、自動で本商品のプログラムを最新版に更新することができます。(取扱説明書「自動バージョンアップ機能を利用してバージョンアップする」)	アップデート設定 自動アップデート (実行時刻)
ファームウェア更新 (当社ホームページからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップする)	Webブラウザをご利用いただくことで本商品のファームウェアを最新版に更新することができます。 (取扱説明書「当社ホームページからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップする」) ホームページからパソコンへいったんファームウェアをダウンロードしたあとパソコンから本商品にダウンロードを実施してください。	ファームウェア更新
ファームウェア更新 (バージョンアップお 知らせ機能を利用し てバージョンアップ する)	サーバに最新版のファームウェアが登録されたことを本商品がサーバへ自動的にアクセスし確認することができます。登録が確認できた場合はファームウェアを最新版に更新してください。 電話機からの操作またはWebブラウザをご利用いただくことで実施可能です。 (1) 電話機からの操作 ① ハンドセット(受話器)を取りあげます。 「ピーピーピー…」という音が約2秒間聞こえ、その後通常の発信音「ツー」に切り替わります。バージョンアップ通知音は、「サービス設定」にて設定が可能です。 ② 「* * * 1 1」をダイヤルします。ダイヤルが終了すると「ブブ」という音が聞こえます。	状態表示 (ファームウェア 手動アップデー ト) サービス設定 (バージョンアッ プお知らせ機能)

機能仕様

サービス機能	内 容	Web画面																												
ファームウェア更新 (バージョンアップお 知らせ機能を利用し バージョンアップ する)	<p>③ハンドセット(受話器)を置いてください。(ファームウェア更新を開始します。) ファームウェア更新実行中、本商品のランプ表示は以下ようになります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ランプの種類</th> <th>ランプのつき方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アラームランプ</td> <td>遅い点滅(赤)</td> </tr> <tr> <td>PPPランプ</td> <td>遅い点滅(緑)</td> </tr> <tr> <td>VoIPランプ</td> <td>遅い点滅(緑)</td> </tr> <tr> <td>電話ランプ</td> <td>遅い点滅(橙)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) この時、本商品の電源はOFFにしないでください。 (注2) ファームウェア更新中はルータ機能および、IP電話機能はご使用になれません。</p> <p>④本商品のランプ表示が以下のようになればファームウェア更新は終了です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ランプの種類</th> <th>ランプのつき方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源ランプ</td> <td>点灯(緑)</td> </tr> <tr> <td>アラームランプ</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>PPPランプ</td> <td>点灯(緑) : 1セッション接続時 点灯(橙) : 2セッション接続時</td> </tr> <tr> <td>VoIPランプ</td> <td>点灯(緑)</td> </tr> <tr> <td>電話ランプ</td> <td>点灯(橙)</td> </tr> <tr> <td>WANランプ</td> <td>点灯(緑)または点滅(緑)</td> </tr> <tr> <td>INITランプ</td> <td>消灯</td> </tr> <tr> <td>APランプ</td> <td>消灯</td> </tr> </tbody> </table> <p>※プッシュホン信号を送出できる電話機をご利用ください。(信号種別を変更できる電話機を使用される場合は、「PB」に切り替えればご使用になれます。)</p> <p>(2) Webブラウザからの操作 (取扱説明書「バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」)</p>	ランプの種類	ランプのつき方	アラームランプ	遅い点滅(赤)	PPPランプ	遅い点滅(緑)	VoIPランプ	遅い点滅(緑)	電話ランプ	遅い点滅(橙)	ランプの種類	ランプのつき方	電源ランプ	点灯(緑)	アラームランプ	消灯	PPPランプ	点灯(緑) : 1セッション接続時 点灯(橙) : 2セッション接続時	VoIPランプ	点灯(緑)	電話ランプ	点灯(橙)	WANランプ	点灯(緑)または点滅(緑)	INITランプ	消灯	APランプ	消灯	状態表示 (ファームウェア 手動アップデート)
ランプの種類	ランプのつき方																													
アラームランプ	遅い点滅(赤)																													
PPPランプ	遅い点滅(緑)																													
VoIPランプ	遅い点滅(緑)																													
電話ランプ	遅い点滅(橙)																													
ランプの種類	ランプのつき方																													
電源ランプ	点灯(緑)																													
アラームランプ	消灯																													
PPPランプ	点灯(緑) : 1セッション接続時 点灯(橙) : 2セッション接続時																													
VoIPランプ	点灯(緑)																													
電話ランプ	点灯(橙)																													
WANランプ	点灯(緑)または点滅(緑)																													
INITランプ	消灯																													
APランプ	消灯																													
設定値表示／保存／ 復元	<p>設定値の表示・保存・復元を行うことができます。</p> <p>(1) 表示 本商品の設定データの内容が確認できます。</p> <p>(2) 保存 本商品の設定値をパソコンに保存することができます。</p> <p>(3) 復元 本商品の設定データに異常があった場合や設定値を前の状態に戻したいときに、パソコンに保存した設定値を本商品へ復元します。</p>	設定値表示／保 存／復元																												

【アルファベット順】

ADSLモデム	(Asymmetric Digital Subscriber Line Modem) コンピュータをADSL回線に接続する際に必要になる信号変換機を表します。具体的には、加入電話回線を通じて送られてくるADSL信号をEthernetの信号に変換したり、その逆を行い、ADSLモデムとコンピュータの間はEthernet LANで繋がります。
ANY接続	特殊なESSIDで、どのアクセスポイントにも接続できるものです。
CHAP	(Challenge Handshake Authentication Protocol) PPPで接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコルです。PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやり取りするため、安全性が高いという特徴があります。RFC1994で仕様が公開されています。
DHCP	(Dynamic Host Configuration Protocol) IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバアドレスなどのIP設定値を、インターネットに接続する際にプロバイダのDHCPサーバから取得します（この時、本商品のWAN側ポートはDHCPクライアントとなる）。設定が非常に簡単ですが、接続するたびにWAN側IPアドレスが変化することになる方式です。
DHCPクライアント	(DHCP Client) DHCPサーバによりIPアドレスを割り当てられるシステムです。
DHCPサーバ	(DHCP Server) DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステムです。
DNS	(Domain Name System) TCP/IPネットワークで用いる名前を解決する仕組みです。DNSサーバを利用して行われます。
DNSサーバ	(Domain Name System Server) ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバです。
DNSリレー	(Domain Name System Relay) LAN側からPPPやDHCPなどから取得したDNSサーバアドレスへDNS問い合わせを中継し、名前解決を実施します。
DSP	(Digital Signal Processor) デジタル信号処理専用のマイクロプロセッサです。
ESSID	(Extended Service Set Identifier) 無線LANで利用されるパスワードの一種。混信を避けるために使うネットワーク名のようなものです。
FQDN	(Fully Qualified Domain Name) ホストやドメインを指定する場合にドメイン名部分の文字列を省略せずにすべて記述する表記方法です。
FTP	(File Transfer Protocol) ネットワーク上のクライアントとホストコンピュータとの間で、ファイルの転送を行うためのプロトコルです。

HTTP	(Hyper-text transfer protocol) WWWサーバとブラウザの間でHTML (hypertext markup language) ファイルなどを転送する時に利用するプロトコル。TCP上で動作します。
ICMP	(Internet Control Message Protocol) TCP/IPプロトコルにおいて、その機能を補助するために用意された制御用のプロトコルであり、RFC792で定義されています。TCP/IPパケットの転送中において発生した各種のエラーの通知や、動作の確認などを行うために利用されます。
IEEE802.11/802.11a/802.11b/802.11g	無線LAN通信に関する国際規格IEEE802.11を拡張したものが802.11a/b/gになります。本装置を屋内で使用する場合は11aをお試しになり、通信に支障があれば11b/gで通信を行ってください。また、電波法により屋外での11a使用は禁止されています。
IP	(Internet Protocol) 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表します。IPアドレスにより相手先を判断します。
IPSec	(Security Architecture for the Internet Protocol) IPのパケットを暗号化し、インターネット上で通信するための規格。VPNで最も広く使用されています。
IPアドレス	(Internet Protocol Address) ネットワーク上で機器を特定するためのアドレスです。例えば、192.168.1.1のようにピリオドを挟んだ4つの数字 (0~255) で表します。
IP電話	インターネットなどのIPネットワーク上で音声データを転送する技術です。
IPパケットフィルタリング	(Internet Protocol Packet Filtering) ネットワークを流れるデータ (IPパケット) を選別し、そのデータを通過させるか (許可)、させないか (拒否) を指定することで、外部から流れてくる不要なデータを遮断したり、逆に内部からデータ漏洩を防ぐ技術です。
LAN	(Local Area Network) 会社内や家庭内などの狭い空間でコンピュータや周辺機器を接続したネットワークシステムです。ファイルやプリンタなどを共有することが可能となります。
L2TP	(Layer 2 Tunneling Protocol) VPNを構築するためのプロトコル。OSI基本参照モデルのデータリンク層でトンネリングを実現します。
MACアドレス	(MAC Address) LANに接続されている機器を識別するためのアドレスです。各機器に対して重複しない6バイトのアドレスが付与されています。
MACアドレスファイリング	すべてのネットワーク機器は固有の番号としてMACアドレスという6バイト (12桁) の番号を持っています。無線LAN通信においてはサーバが通信できるMACアドレスを指定し、通信を受けたくない無線LANカードなどからの通信を防ぎます。
MSS	(Maximum Segment Size) 最大セグメント・サイズ。TCPを使った通信では、最初のTCP接続確立時に、1パケットのTCP最大データ長を表します。MSS値=MTU値-40の数値で表します。

MTU	(Maximum Transmission Unit) ネットワークにおいて、1回で送信できる1パケットのデータの最大値を示します。RFC791で定義されています。MTUの単位はバイト。PPPoEでは通常1454といわれていますが、Webサイトにより1454ではアクセスできず、4の倍数で1454より小さい値を推奨しているものがあり安全のために本商品では1452としています。
NAPT	(Network Address Port Translation) LANで利用されるプライベートIPアドレスをグローバルIPアドレスに変換する仕組みです。これにより、複数の機器が1つのグローバルアドレスを利用して接続ができるようになります。
NetBIOS	(Network Basic Input/Output System) ネットワーク環境を実現するトランスポート層やセッション層のネットワーク・サービスを呼び出すためのAPIインターフェイスです。RFC1001、RFC1002で仕様が公開されています。下位プロトコルに、TCP/IP（ポート137,138,139:Windows® 2000/XPでは、さらにポート445）が使われます。主としてLAN（ローカル・エリア・ネットワーク）環境やイントラネット環境を想定したものであり、WAN接続やプロバイダ接続する場合などは離れた場所でも、ファイル共有、プリンタ共有が使えるなどの利点はありますが、「不必要な情報」が外部へ流出する可能性があります。本商品はNetBIOSによる情報の外部流出を防止することができます。また、ロケーション・サービス（TCP/UDPポート番号135）に対しても同様の処置がとられます。
NTP	(Network Time Protocol) ネットワークを介して時刻を調整するプロトコルです。具体的には、クライアントの内部時計を、インターネット上に存在するNTPサーバを介して時刻を調整します。
ONU	光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持ちます。
PAP	(Password Authentication Protocol) PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコルです。RFC1334で仕様が公開されています。
PING	TCP/IPネットワークにおいてパケットの送受信テストを行うコマンドです。接続されているかどうかの確認に利用します。
PPP	(Point-to-Point Protocol) 2地点間での通信に利用するWAN用のプロトコルです。主にダイヤルアップ接続などに利用されます。
PPPoE	(Point-to-Point Protocol over Ethernet) Ethernet上にPPPコネクションを構築し、PPPによる認証を経て通信が可能になる方式です。一般的に、接続の際にPPPoEユーザ名とパスワードが必要になります。フレッツ・ADSLやBフレッツはこの方式を採用しています。この方式は、プロバイダ側のPPPoEサーバとの1対1接続になるため、サブネットマスクやデフォルトゲートウェイという概念はありません。一方、IPアドレスやDNSサーバアドレス（プライマリ/セカンダリ）に関しては、PPP（IPCP）ネゴシエーション中にプロバイダのサーバから自動取得する場合がほとんどですが、自動取得せずに常に同じIPアドレス、DNSサーバアドレスを利用するサービスもあります。RFC2516で仕様が公開されています。

PPTP	(Point to Point Tunneling Protocol) 米インターネット上で暗号化された情報を送受信する時に使用されるプロトコルで、VPNを実現するために利用されています。PPPというプロトコルを拡張したものです。国際標準規格RFC2637で定義されています。
RIP	(Routing Information Protocol) TCP/IPなどによって構成されるネットワークにおいて、動的なルーティング制御を行なうためのプロトコルです。
SIP	(Session Initiation Protocol) IP電話などに用いられる通話制御プロトコルの1つです。RFC3261で仕様が開示されています。
SIPサーバ	(Session Initiation Protocol Server) IP電話サービスネットワーク内に設置され、各装置のIP電話サービスへの登録および、装置間の通話確立などを仲介するサーバです。プロキシサーバ、レジスタサーバから構成します。
SLIC	(Subscriber Line Interface Circuit) 加入者回路、加入者線終端回路を意味します。
TCP	(Transmission Control Protocol) データの転送を制御するプロトコルです。送信先に接続してデータ送信をします。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できます。
TCP/IP	(Transmission Control Protocol/Internet Protocol) インターネットでの標準プロトコルです。TCP/UDPとIPというそれぞれのプロトコルを用いて通信を行います。
TKIP	(Temporal Key Integrity Protocol) 従来の暗号化であるWEPの脆弱性を克服するために、キーを自動的に変更して暗号化を行うように改良された暗号化方式の1つです。定期的に変更する暗号化キーを変更するために、キーの解析が困難となり、WEPより強固なセキュリティとなります。
UDP	(User Datagram Protocol) データの転送を制御するプロトコルです。TCPとは異なり受信側へ接続をせずに送信します。このため、高速に通信することが可能です。
Unnumbered	(Unnumbered) 他のネットワークに接続するルータのWAN側ポートにIPアドレスを割り当てず、2台のルータを見かけ上1台のルータのように扱う接続方式です。Unnumberedで運用されているルータはLAN側のみIPアドレスを持ちます。Unnumbered接続を行う場合、2台のルータが繋がっているネットワークに他のコンピュータがいるとパケットの行き先が確定しなくなるため、ルータどうしが直結している必要があります。
UPnP	(Universal Plug and Play) 特別な設定なしに機器をLANに接続し通信することができます。アプリケーションがアドレス変換を考慮して送受信パケットを作成するためNAPT機能などを実装していても通信が可能です。

URL	(Uniform Resource Locator) インターネット上の情報資源（文書や画像など）の場所を指し示す記述方式です。
VDSLモデム	(Very high-bit-rate Digital Subscriber Line) コンピュータをVDSL回線に接続する際に必要になる信号変換機を表します。具体的には、加入電話回線を通じて送られてくるVDSL信号をEthernetの信号に変換したり、その逆を行い、VDSLモデムとコンピュータの間はEthernetLANで繋がります。
VPN	(Virtual Private Network) 企業などでプライベートネットワーク専用の回線を設置する場合、工事や維持管理に膨大な費用を投入しなければなりません。情報を暗号化して電話回線やインターネット上で通信するシステムを構築すれば、費用を安く抑えることができます。VPNはこれを実現するためのネットワークシステムです。
VPNクライアント	VPNに接続している端末を指します。
WAN	(Wide Area Network) 広域のネットワークを意味します。LANと対比して利用されることがあり、伝送距離に制限がないことが特徴です。
Webブラウザ	Webページ（WWWシステムを使ってインターネット上で公開されている文書）を閲覧（ブラウザ）するためのソフトウェア。代表的なものとしてInternet Explorerがある。
WEPキー	WEPで用いられる秘密の鍵です。送信者と受信者は同じ鍵を登録した上で通信を行います。
WEPキー pass phrase	(パスフレーズ) パスワードの長くなったものをWEPキーでは使用しています。複数の単語を羅列することにより、より高度なセキュリティ性を実現しています。
WPA-PSK 情報	WPA (Wi-Fi Protected Access) WEPに脆弱な点を補強しセキュリティ性を向上させたプロトコルです。ユーザの認証や秘密鍵の定期的な自動更新を実現しています。PSKはWPAにおいて事前共有鍵を設定する方式です。WPA-PSK情報というのは、この両者を組み合わせた認証方式の情報を指します。

【あいうえお順】

【あ行】

- アクセスポイント** インフラストラクチャーモードでの通信の中継点となるポイントです。有線LAN接続のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで無線LAN接続のパソコンと通信します。
- アドホック・モード** (ad hoc Mode)
アクセスポイントを介さずに、無線LANカードを装着したパソコン同士が直接無線LAN上で通信を行う形態を指します。
- イーサネット** (Ethernet)
現在、最も普及しているLANです。10BASE-Tや100BASE-TXなどの規格があります。
- インフラストラクチャー・モード** (Infrastructure Mode)
アクセスポイントを介して、無線LAN上で通信する形態を指します。

【か行】

- 回線終端装置** (Digital Service Unit)
デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置です。BフレッツではONU (Optical Network Unit) などを指します。
- 簡易DMZ** (Simplicity De-Militarized Zone)
グローバル側へのアクセスを特定の端末へすべて転送します。NAPTを使用すると通信が行えないネットワークゲームなどに使用するとき用います。バーチャルコンピュータ (Virtual Computer) とも称します。
- ゲートウェイ** (Gateway)
プロトコルの異なるLANどうしやLANとWANとを接続する装置です。

【さ行】

- サブネットマスク** (Subnet Mask)
コンピュータどうしが同じネットワーク部であるかを判断するための値です。例えば、255.255.255.0のようにピリオドを挟んだ4つの数字 (0~255) で表します。
- ステートフルパケットインスペクション** (Stateful Packet Inspection) (SPI機能)
IPアドレス、ポートフィルタを通過するパケットのデータを読み取り、内容を判断して動的にポートを開放・閉鎖する機能です。通信中はポートを開いておき、通信が終わるとすぐにポートを閉じます。
- ステルスモード** (Stealth Mode)
WAN側からの不正アクセスを防止します。
本商品はTCPパケット/UDPパケット/ICMPパケットのそれぞれのアクセスを防止する/しないを選択することができます。
- スループット** (Throughput)
コンピュータが処理を行う速度を意味します。CPU、メモリ、ハードウェア等がそれぞれ影響しあった結果、すべての要素を通して、最終的に処理がどれほどの速度で行われるかを指します。

セッション

(Session)

ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態を意味します。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態になります。

【た行】**チャンネル**

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。複数の無線LANを狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合があります。その場合、なるべく各チャンネル同士の帯域が重ならないような使用を推奨します。

ドメイン

(domain)

「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位を表します。

【な行】**ネットワークアドレス**

(Network Address)

IPアドレスの中のネットワークを識別する部分です。例えばサブネットマスクが255.255.255.0の場合は、IPアドレスの3つ目のピリオドまでの数字がネットワークアドレスになります。

【は行】**パケット**

一定のサイズに分割されたデータの先頭に、データの属性や宛先などを付けたものです。

パケット通信

パケット化されたデータを送受信する通信のことです。携帯電話やISDN等で利用されています。

パススルー

信号を何の処理もしないで通過させること。

パスワード

(Password)

コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号です。パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせで設定することや、定期的にパスワードを変更することが望まれます。

ファイアウォール

(fire wall)

外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。LANとインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現しています。

ファームウェア

本商品に内蔵されていて、本商品の動作を制御するソフトウェアのことを指します。ファームウェアは機能の追加や不具合の修正のために後から変更できるようになっており、バージョンアップを行うことで、購入後でも最新機能をご利用いただくことができます。

プライベートIPアドレス

外部のネットワークに直接接続することのない端末に対し、企業や組織内で自由に設定できるIPアドレスです。インターネット通信は、ProxyサーバやNAT機構などを使って実現しています。

フレッツ・コネク

フレッツ・コネクはBフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客さまどうしによる、IP電話機能などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスです。NTT東日本エリア全域のご利用者に提供をしております。

フレッツ・コミュニケーション	フレッツ・コミュニケーションはBフレッツ、フレッツ・ADSLをご利用のお客さま どうしによる、IP電話機能などの音声・映像・データによる多彩な通信サービスです。 NTT西日本エリア全域のご利用者に提供をしております。
プロキシサーバ	(Proxy Server) 各装置からSIPプロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより 装置間の通話を確認させるサーバです。
プロトコル	(Protocol) データ通信を行うために必要な取り決めを意味します。TCPやUDP、IPなどがあり ます。
プロバイダ (ISP)	(Internet Services Provider) インターネットの接続サービスを提供している事業者を表します。
ポート転送	(Port Forwarding) WAN側のポート番号、プロトコル種別とLAN側に接続された機器のIPアドレス、ポー ト番号を静的に対応付ける機能です。これにより、LAN側に位置するWebサーバを WAN側に開示するといったサーバホスティングが可能になります。
ポート番号	(Port Number) TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号で す。
ホスト名	(Host Name) ネットワークを利用している機器に付加される名前です。DNSサーバによりIPアドレ スと対応付けられています。

【ま行】

マルチセッション	(Multisession) ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態を意味します。
----------	---

【ら行】

ルータ	(Router) LANどうしやLANとWANを接続するための中継装置です。
ルーティング	(Routing) パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能です。
ルーティング テーブル	(Routing Table) ルーティングの際に参照するデータです。このデータにもとづいてルーティングを 実行します。
レジスタ サーバ	(REGISTER Server) 各装置からの登録情報を受け付け、データベースに登録されている装置情報を更新 するサーバです。

アルファベット

CALLTBL状態	2-44
DHCPサーバ機能	2-14
DHCP設定	2-14
DSP状態	2-43
FQDN	2-39
IPアドレス	2-14
IP電話回線状態	2-43
IP電話サービス	2-36
IP電話設定情報	2-39
IP電話着信拒否電話番号	2-37
LANインタフェース	2-27
LAN側サブネットマスク	2-9
LAN側転送IPアドレス	2-17
LAN側転送ポート	2-17
Lモード	2-38
MACアドレス	2-33,2-44
MTU値	2-12
NetBIOS	3-7
NTPサーバ	2-9
ONU	3-13
Ping送信	2-51
PPPoE	2-11
PPPoE状態 (セッション1) (セッション2)	2-44
REGISTERサーバアドレス	2-39
REGISTERサーバポート番号	2-39
SIPドメイン名	2-39
SLIC状態	2-43
SPI	3-6
TCPステルスモード	2-30
UDPステルスモード	2-30
Unnumbered接続	1-11,2-12
UPnP機能	1-5,2-18

WANインタフェース	2-27
WAN側IPアドレス	2-9
WAN側サブネットマスク	2-9
WAN側ポート	2-9
Windows共有フィルタ	3-7

五十音

【ア行】

宛先ネットワークアドレス	2-22
--------------	------

【カ行】

加入電話回線種別	2-36
簡易DMZ	2-18
機能仕様	3-2
共有フィルタ/ステルス設定	2-30
ゲートウェイIPアドレス	2-22
固定IP	1-11,2-9,2-15

【サ行】

サービスプロバイダ (ISP)	1-2,2-39
再起動	2-2,2-56
出力インタフェース	2-20
障害ログ表示	2-48
状態表示	2-2,2-41
セッション1	2-22
セッション2	2-24
接続パスワード	2-12
設定	
DHCP設定	2-14
IPフィルタ設定	2-20
MACアドレスフィルタリング	2-33
NAPT設定	2-17
PPPoE設定	2-11

RIP設定	2-27
VPN/パススルー設定	2-28
Windows共有フィルタ／ ステルス設定	2-30
暗号化設定	2-32
かんたん設定	2-6
基本設定	2-32
サービス設定	2-36
電話設定	2-35
ネットワーク設定	2-8
パスワード設定	2-50
無線LAN設定	2-31
ルータ設定	2-7
ルーティングテーブル設定	2-22,2-24
設定記入シート	3-21
設定値表示／保存／復元	2-52
設定例	
LAN側に接続したパソコンのファイル やプリンタを共有するには	1-15
LAN側のIPアドレスを変更するには	1-13
LAN側のパソコンにIPアドレスを 自分で設定するには	1-12
特定の相手からの呼び出しを 拒否するには	1-15
特定のパソコンのインターネット接続を 規制するには	1-14
音声／ビデオチャット等のツールを 利用するときには	1-5
外部にサーバを公開するには	1-7
複数の固定IPアドレスを利用するには	1-11
マルチセッションを利用するときには (フレッツ・スクウェアを 利用する)	1-2

【タ行】

追加する宛先ネットワークアドレス	2-25
追加するドメイン名	2-24
通話ログ表示	2-48
デフォルトゲートウェイ	2-9

【ナ行】

入力インタフェース	2-21
ネゴシエーション	2-9

【ハ行】

ファームウェア更新	2-55
プロトコル種別	2-17,2-19
保守	2-2,2-49

【ヤ行】

ユーザ名	2-12
用語集	3-11

【ラ行】

ログ表示	2-5,2-47
------	----------

【ワ行】

割り込み音	2-37
-------	------

設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し、大切に保管してください。
 プロバイダの認証パスワードは、お客様の個人情報となります。
 記入された際は、本設定記入シートのお取り扱いにご注意ください。

	設定項目	項目名	設定データ
初期設定	Web設定ログインパスワード	新しいパスワード	
	フレッツ・スクウェア接続設定	エリア設定	
ファームウェア更新確認情報設定	動作モード	動作モード	PPoE/DHCP/ 固定IP/アダプタ
	インターネットサービスプロバイダ設定	接続ユーザ名	
		接続パスワード	
自動アップデート機能設定	実行時刻		指定なし/指定あり 時 分

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
かんたん設定	—	インターネットサービスプロバイダ設定	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			接続パスワード確認	
		利用中電話サービス	ナンバー・ディスプレイ	あり/なし
			キャッチホン	あり/なし
ルータ設定	ネットワーク設定	動作モード	動作モード	PPPoE/DHCP/ 固定IP/アダプタ
		WAN側ネットワーク設定	WAN側IPアドレス/ マスク長	/
			デフォルトゲートウェイ	
		DNSリレー設定	DNSサーバIPアドレス	プライマリ： セカンダリ：
		NTPサーバ設定	NTPサーバIPアドレス	
		LAN側ネットワーク設定	LAN側IPアドレス/ マスク長	/
		PPPoEブリッジ設定	PPPoEブリッジ設定	無効/有効
IPv6ブリッジ設定	IPv6ブリッジ設定	無効/有効		

(次ページに続く)

設定記入シート

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ		
ルータ設定	ネットワーク設定	ポート設定	WANポート設定	自動認識/100M全二重/100M半二重/10M全二重/10M半二重		
			LAN1ポート設定	自動認識/100M全二重/100M半二重/10M全二重/10M半二重		
			LAN2ポート設定	自動認識/100M全二重/100M半二重/10M全二重/10M半二重		
			LAN3ポート設定	自動認識/100M全二重/100M半二重/10M全二重/10M半二重		
			LAN4ポート設定	自動認識/100M全二重/100M半二重/10M全二重/10M半二重		
	PPPoE設定	接続先設定		セッション1	接続先1~5/ 接続しない	
				セッション2	接続先1~5/ 接続する	
		接続先 1		接続ユーザ名		
				接続パスワード		
				接続パスワード確認		
				認証方式	認証なし/PAP/ CHAP/PAP+CHAP	
				無通信監視タイマ	無効/1分/5分/10分/ 30分	
				DNSサーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：	
				MTU値		
				IPアドレス指定	指定しない/指定する (Unnumbered接続)	
					IPアドレス	
					マスク長	

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ	
ルータ設定	PPPoE設定	接続先2	接続ユーザ名		
			接続パスワード		
			接続パスワード確認		
			認証方式	認証なし/PAP/ CHAP/PAP+CHAP	
			無通信監視タイマ	無効/1分/5分/10分 /30分	
			DNSサーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：	
			MTU値		
			IP アドレス指定	指定する/指定しない (Unnumbered接続)	
			IPアドレス		
			マスク長		
			接続先3	接続ユーザ名	
			接続パスワード		
		接続パスワード確認			
		認証方式	認証なし/PAP/ CHAP/PAP+CHAP		
		無通信監視タイマ	無効/1分/5分/10分 /30分		
		DNSサーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：		
		MTU値			
		IPアドレス指定	指定しない/指定する (Unnumbered接続)		
		IPアドレス			
		マスク長			

(次ページに続く)

設定記入シート

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	PPPoE設定	接続先4	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			接続パスワード確認	
			認証方式	認証なし/PAP/ CHAP/PAP+CHAP
			無通信監視タイマ	無効/1分/5分/10分 /30分
			DNSサーバアドレス	プライマリ： セカンダリ：
			MTU値	
			IPアドレス指定	指定しない/指定する (Unnumbered接続)
		IPアドレス		
		マスク長		
		接続先5	接続ユーザ名	
			接続パスワード	
			接続パスワード確認	
			認証方式	認証なし/PAP/ CHAP/PAP+CHAP
	無通信監視タイマ		無効/1分/5分/10分 /30分	
	DNSサーバアドレス		プライマリ： セカンダリ：	
	MTU値			
	IPアドレス指定		指定しない/指定する (Unnumbered接続)	
	IPアドレス			
	マスク長			
	DHCP設定	LAN側ネットワーク設定	LAN側 IPアドレス/ マスク長	/
			DHCPサーバ設定	DHCPサーバ機能
		DHCPサーバ設定	割り当て開始 IPアドレス	
			割り当て終了 IPアドレス	
DNSサーバアドレス				
固定IPアドレスで使用する端末の情報設定		IPアドレス	(●P3-30参照)	
		MACアドレス		

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	NAPT設定	—	動的NAPT機能	有効/無効
		—	簡易DMZ IPアドレス	
		UPnP設定	UPnP機能	無効/ セッション1有効/ セッション2有効
		静的NAPT設定 (ポート転送規則)	割り当て WAN側 受信ポート範囲	(●P3-31 参照)
	プロトコル種別			
	LAN側 転送 IPアドレス			
	IPフィルタ設定	—	デフォルトの規則	許可/破棄
		パケットフィルタ規則	方針 (POLICY)	(●P3-32~P3-38 参照)
			プロトコル種別 (PROTOCOL)	
			入インタフェース (IN)	
			出インタフェース (OUT)	
			送信元IPアドレス/ マスク長 (SOURCEIP/MASK)	
			送信先IPアドレス/ マスク長 (DESTINATIONIP/ MASK)	
			送信先ポート番号 (PORT)	
	ルーティング テーブル設定 ルーティング条 件(セッション1)	スタティックルーティ ング設定	宛先ネットワークア ドレス/マスク長	(●P3-38参照)
ゲートウェイ IPアドレス				

(次ページに続く)

設定記入シート

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
ルータ設定	ルーティングテーブル設定 ルーティング条件(セッション2)	—	追加するドメイン名	(☛P3-39参照)
		—	追加する宛先ネットワークアドレス/ マスク長	(☛P3-39参照)
	RIP設定	各インタフェースのRIP設定	LANインタフェース	有効/無効
			WANインタフェース	有効/無効
			PPPoEセッション2	有効/無効
	VPNパススルー設定	PPTPパススルー設定 (サーバ公開)	WANからLANへのアクセス	有効/無効
			LAN側IPアドレス	
			WAN側IPアドレス	すべて/指定 指定:
		IPsecパススルー設定 (サーバ公開)	WANからLANへのアクセス	有効/無効
			LAN側IPアドレス	
			WAN側IPアドレス	すべて/指定 指定:
		L2TPパススルー設定 (サーバ公開)	WANからLANへのアクセス	有効/無効
			LAN側IPアドレス	
			WAN側IPアドレス	すべて/指定 指定:
	Windows共有 フィルタ/ステルス設定	—	Windows共有フィルタ	有効/無効
			TCPステルスモード	有効/無効
			UDPステルスモード	有効/無効
			ICMPステルスモード	有効/無効

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
無線LAN設定	基本設定	—	無線動作モード	11b+g/11g/11a
			ESSID	
			ANY接続	許可/拒否
			送信パワー設定	100/50/25 (%)
	無線チャンネル	2.4 GHz帯	1(チャンネル)/ 2(チャンネル)/ 3(チャンネル)/ 4(チャンネル)/ 5(チャンネル)/ 6(チャンネル)/ 7(チャンネル)/ 8(チャンネル)/ 9(チャンネル)/ 10(チャンネル)/ 11(チャンネル)/ 12(チャンネル)/ 13(チャンネル)/	
			5.0 GHz帯	34(チャンネル)/ 38(チャンネル)/ 42(チャンネル)/ 46(チャンネル)/
	速度設定	—	11b+g	auto
			11g	auto 54(Mbps)/ 48(Mbps)/ 36(Mbps)/ 24(Mbps)/ 18(Mbps)/ 12(Mbps)/ 9(Mbps)/ 6(Mbps)/

(次ページに続く)

設定記入シート

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ	
無線LAN設定	基本設定	速度設定	11a	auto 54(Mbps)／ 48(Mbps)／ 36(Mbps)／ 24(Mbps)／ 18(Mbps)／ 12(Mbps)／ 9(Mbps)／ 6(Mbps)／	
	暗号化設定	—	暗号方式	暗号方式	OFF／WEP／ TKIP + PSK
		WEP	WEPキータイプ	WEPキータイプ	自動設定 (Pass Phrase)／直接入力
			暗号化ビット数	暗号化ビット数	64／128
		WEPキー設定情報	WEPキー Pass Phrase	WEPキー Pass Phrase	
			入力方式	入力方式	文字入力／ 16進数 (HEX) 入力
			デフォルト送信キー	デフォルト送信キー	1／2／3／4
			WEPキー1	WEPキー1	
			WEPキー2	WEPキー2	
			WEPキー3	WEPキー3	
		WPA-PSK情報	WPA-PSK情報	PSK (事前共有キー)	
	キーリフレッシュタイマ		キーリフレッシュタイマ	分	
	MACアドレス フィルタリング		MACアドレスフィルタリング	MACアドレスフィルタリング	有効／無効
			デフォルトポリシー	デフォルトポリシー	拒否／許可
	フィルタリングする MACアドレスの情報 設定	フィルタリングする MACアドレスの情報 設定	MACアドレス ポリシー	(●P3-40, P3-41参照)	

メインメニュー	サブメニュー	設定項目	項目名	設定データ
電話設定	サービス設定	—	市外局番	
			加入電話回線種別	自動/PB/DP
			ダイヤル桁間タイマ	4秒/5秒/6秒/7秒/8秒
		利用中電話サービス	ナンバーディスプレイ	なし/あり
			キャッチホン	なし/あり
		バージョンアップお知らせ機能	バージョンアップ通知音	なし/あり
		IP電話サービス	IP電話サービス	有効/無効
			発信時番号通知	通知/非通知
			割り込み音	なし/あり
			IP電話着信音選択	SIR/IR
		—	IP電話非通知着信拒否	無効/有効
	IP電話着信拒否電話番号		(☛P3-42参照)	
	IP電話設定情報	—	SIP サーバアドレス	
			SIP サーバポート番号	
			REGISTERサーバアドレス	
			REGISTERサーバポート番号	
			SIPドメイン名	
			ユーザID	
			パスワード	
			IP電話番号	
			市外局番	
アップデート確認用URL				

1. 固定IPで使用する端末の情報設定

登録番号	IPアドレス	MACアドレス	記事
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

2.静的NAPT設定（ポート転送規則）

登録番号	割り当てWAN側受信ポート範囲	プロトコル種別	LAN側転送IPアドレス	LAN側転送ポート	記事
1	～	TCP/UDP			
2	～	TCP/UDP			
3	～	TCP/UDP			
4	～	TCP/UDP			
5	～	TCP/UDP			
6	～	TCP/UDP			
7	～	TCP/UDP			
8	～	TCP/UDP			
9	～	TCP/UDP			
10	～	TCP/UDP			
11	～	TCP/UDP			
12	～	TCP/UDP			
13	～	TCP/UDP			
14	～	TCP/UDP			
15	～	TCP/UDP			
16	～	TCP/UDP			
17	～	TCP/UDP			
18	～	TCP/UDP			
19	～	TCP/UDP			
20	～	TCP/UDP			
21	～	TCP/UDP			
22	～	TCP/UDP			
23	～	TCP/UDP			
24	～	TCP/UDP			
25	～	TCP/UDP			
26	～	TCP/UDP			
27	～	TCP/UDP			
28	～	TCP/UDP			
29	～	TCP/UDP			
30	～	TCP/UDP			
31	～	TCP/UDP			
32	～	TCP/UDP			

設定記入シート

3.パケットフィルタ規則

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート番号	記事
1	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
2	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
3	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
4	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
5	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
6	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
7	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
8	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
9	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
10	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート番号	記事
11	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
12	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
13	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
14	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
15	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
16	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
17	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
18	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
19	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
20	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	

(次ページに続く)

設定記入シート

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート番号	記事
21	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
22	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
23	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
24	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
25	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
26	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
27	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
28	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
29	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
30	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート番号	記事
31	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
32	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
33	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
34	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
35	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
36	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
37	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
38	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
39	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
40	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	

(次ページに続く)

設定記入シート

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート番号	記事
41	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
42	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
43	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
44	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
45	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
46	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
47	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
48	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
49	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	
50	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/(/)	全て/指定/(/)	全て/指定/(~)	

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート番号	記事
51	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
52	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
53	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
54	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
55	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
56	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
57	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
58	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
59	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	
60	許可/破棄	全て/TCP/UDP/ICMP	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/WAN/LAN/セッション1/セッション2	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (/)	全て/指定/ (~)	

(次ページに続く)

設定記入シート

登録番号	方針	プロトコル種別	入力インタフェース	出力インタフェース	送信元IPアドレス/マスク長	送信先IPアドレス/マスク長	送信先ポート番号	記事
61	許可/破棄	全て/ TCP/ UDP/ ICMP	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (~)	
62	許可/破棄	全て/ TCP/ UDP/ ICMP	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (~)	
63	許可/破棄	全て/ TCP/ UDP/ ICMP	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (~)	
64	許可/破棄	全て/ TCP/ UDP/ ICMP	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/WAN /LAN/ セッション1/ セッション2	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (/)	全て/ 指定/ (~)	

4.ルーティングテーブル設定 ルーティング条件（セッション1）

登録番号	宛先ネットワークアドレス/マスク長	ゲートウェイIPアドレス	記事
1	/		
2	/		
3	/		
4	/		
5	/		
6	/		
7	/		
8	/		
9	/		
10	/		
11	/		
12	/		
13	/		
14	/		
15	/		
16	/		

5.ルーティングテーブル設定 ルーティング条件（セッション2）

登録番号	追加するドメイン名	記事
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

登録番号	追加する宛先ネットワークアドレス/マスク長	記事
1	/	
2	/	
3	/	
4	/	
5	/	
6	/	
7	/	
8	/	
9	/	
10	/	
11	/	
12	/	
13	/	
14	/	
15	/	
16	/	

設定記入シート

6. フィルタリングするMACアドレスの情報設定

登録番号	MACアドレス	ポリシー	記事
1		拒否/許可	
2		拒否/許可	
3		拒否/許可	
4		拒否/許可	
5		拒否/許可	
6		拒否/許可	
7		拒否/許可	
8		拒否/許可	
9		拒否/許可	
10		拒否/許可	
11		拒否/許可	
12		拒否/許可	
13		拒否/許可	
14		拒否/許可	
15		拒否/許可	
16		拒否/許可	
17		拒否/許可	
18		拒否/許可	
19		拒否/許可	
20		拒否/許可	
21		拒否/許可	
22		拒否/許可	
23		拒否/許可	
24		拒否/許可	
25		拒否/許可	
26		拒否/許可	
27		拒否/許可	
28		拒否/許可	
29		拒否/許可	
30		拒否/許可	

登録番号	MACアドレス	ポリシー	記事
31		拒否/許可	
32		拒否/許可	

7.IP電話 着信拒否電話番号

登録番号	IP電話 着信拒否電話番号	記事
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
：<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方でご不明の点がございましたら、下記へお気軽にご相談ください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

☎0120-710444（9：00～21：00）

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用の場合（通話料金がかかります）
03-5667-7200

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●パソコンの接続・設定等に関するお問い合わせ

☎0120-275466（24時間 年中無休）

●故障に関するお問い合わせ

☎0120-242751（24時間 年中無休*）

※故障修理等の対応時間は平日9：00～17：00、

土・日・祝日および年始1月1日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

☎0120-109217（9：00～21：00）
トークニーナ

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用の場合

東海、北陸、近畿、中国、四国地区 06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区 092-720-4862（通話料金がかかります）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

☎0120-248995（24時間 年中無休）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。（2006年5月現在）